

Illustrator から、簡単にカッティングができる!

Adobe Illustrator CS2 対応 Windows/Macintosh 両対応

Mimaki



取扱説明書

プラグインカッティングソフトウェア

fi*ne* **Cut** **6** *for Illustrator*[®]

Windows[®]/Macintosh[®]

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

D201253

FineCut について

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。

FineCut は、他のカッティングソフトウェアに無い直感的な操作と安定したカット環境をご提供いたします Adobe® Illustrator® のプラグインソフトウェアです。

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複製することは固くお断りいたします。
- 本ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり(バックアップを目的とする場合を除く)、実行する以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害(逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない)に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してメディア(ワーク)等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

システムとソフトウェアの必要条件

FineCut6 をインストールして使用するには、次の条件が必要です。

	Windows	Macintosh
パソコン	Pentium プロセッサ または互換プロセッサ搭載の IBM PC または互換機 (64ビットCPUは除く)	Power PC または Intel CPU を搭載 した Macintosh
OS	Microsoft®Windows®98, Windows®Me Windows®2000, Windows®XP, Windows®Vista (プロッタと USB 接続の場合は、 Windows2000 (サービスパック3以降)、 または WindowsXP (サービスパック1以降)	Mac OS 9.2.2J Mac OS X 10.1 ~ 10.4 (プロッタと USB 接続の場合は、 Mac OS 9.2.2J または Mac OS 10.2.6 以降)
モニター	800 x 600 ピクセル以上	
ソフトウェア	Adobe® Illustrator® 8 ~ 10, CS, CS2 日本語版	
プロッタ	Mimaki CG シリーズ(CG-45以降)、Mimaki CF-09/12 シリーズ、 Mimaki CF2 シリーズ、Mimaki DC シリーズ	

プロッタ側の設定

FineCut6 をご使用になる前に、プロッタ側の設定をしてください。

	項目	設定値	
CG-EXシリーズ	ゲンテン	ミギシタ	
CG-FXシリーズ	ゲンテン	ミギシタ	
CG-75ML	トンボ の設定	トンボケンシュツ	1 テン
		スケールホセイ	アトシテイ
		オフセット A	0.0mm
		オフセット B	0.0mm
		マイルスウ A	1 マイ
		マイルスウ B	1 マイ
	カイテン	OFF	
	ユウセンジュンイ	ホスト	
CF-09/12 シリーズ	コマンド SW	ユウコウ	
	ゲンテン	ヒダリシタ	
	エンθホセイ	プラスの角度を入力	
CF2 シリーズ DC シリーズ	コマンド SW	ユウコウ	
	ゲンテン	ヒダリシタ	
	エンθホセイ	プラスの角度を入力	
	エキスバンド	オフ	
	トンボケンシュツ	1 テン *エキスバンドの設定がオフになっていない と、トンボ検出の設定はできません。	

FineCut6の新機能

新たに以下の機能を追加しました。

1 輪郭抽出機能 (⇒ 33 ページ)

ビットマップイメージのアウトラインを作成し、輪郭を簡単に抽出する機能です。

2 線分修正ツール (⇒ 36 ページ)

輪郭抽出機能で作成されたアウトラインの修正を簡単にを行うことができるツールです。

3 トンボの周りを塗りつぶす (⇒ 57 ページ)

地の色が白以外のメディアを使用してトンボを正常に認識できない場合、使用する機能です。
(メディアやインクの種類によっては、トンボを認識できない場合があります)

4 パターン情報による連続カットデータ読み取り機能 (⇒ 71 ページ)

この機能はCG-75MLプロッタのみに対応しています。トンボにパターン情報を付加し、複数の図柄の異なるデータの輪郭を、連続してカットすることができます。さらに、パターン情報は回転の有無情報を含み、プリント時にデータを回転させた場合や、プリントしたメディアを巻き戻さずにカットする場合も、すべてのデータを一度にカットすることができます。

5 トンボ分割カット機能 (⇒ 80 ページ)

この機能は、CF2/DCシリーズプロッタのみに対応しています。カットエリアに収まりきらない大きなオブジェクトに分割トンボを付けて、数回(2~5回)に分けてカットできる機能です。

6 裏面カット機能 (⇒ 82 ページ)

この機能は、CF2/DCシリーズプロッタのみに対応しています。段ボールなどを裏面からカットして、仕上がりをキレイにできます。

7 円弧近似出力機能 (⇒ 96 ページ)

オブジェクトの曲線部分をカットするとき「円弧」を選んでおけば、曲線部分をよりなめらかにカットできます。

目次

FineCut6の新機能	2
FineCutをインストールする	4
インストール手順 (Windowsをご使用の場合)	4
インストール手順 (Macintoshをご使用の場合)	7
ユーザ登録とパスワードの取得について	10
Macintosh用USBシリアル変換アダプタについて ..	11
この取扱説明書について	12
シリアル番号の入力	13
カットしてみましよう	14
高度な使い方	20
オブジェクトを拡大/縮小する	20
位置合わせ用のマークをつける (センターマーク/コーナーマーク)	22
1つのオブジェクトを複数カットする (コピー)	24
1つのオブジェクトを分割してカットする (タイリング)	26
影/ふち取りをつける	30
輪郭を抽出する	33
線分を修正する	36
シール周りの不要な部分を剥がしやすくする	39
色別にオブジェクトをカットする	42
レイヤー別にオブジェクトをカットする	44
出力条件を設定する	45
カット終了後のヘッド位置/原点を設定する	52
シールやサインパネルなどをつくる	54
シートを有効に使う	84
トラッピング処理を行う	86
線幅・重なりを認識させる	88
カラーライブラリを使ってシート色を指定する	89
機能説明	93
オブジェクトの塗りと線について	93
FineCutメニューについて	94
プロッタ/ユーザ設定について	96
プロットダイアログについて	101
プロッタ出力ダイアログについて	109
輪郭抽出ダイアログについて	112
線分修正ダイアログについて	114
こんな時は	118
索引	121

▶ FineCut をインストールする

インストール手順 (Windows をご使用の場合)

- 1 パソコンの電源を ON にし、Windows を起動します。
- 2 FineCutCD-ROM をディスクドライブにセットします。
以下の画面を表示します。



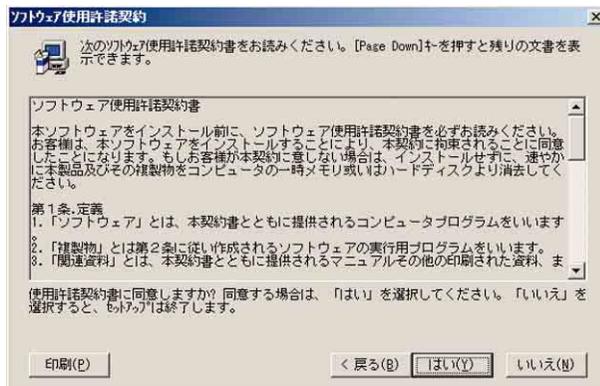
FineCut6 for Illustrator セットアップ をクリックします。

- 3 FineCut のセットアップ画面が立ち上がります。



次へ をクリックします。

4 「ソフトウェア使用許諾契約」を表示します。



よくお読みの上、契約に同意する場合は、**はい** をクリックします。

5 インストール先選択画面を表示します。



参照 をクリックします。

6 使用するIllustratorのプラグインフォルダをダブルクリックします。プラグインフォルダを指定後、**OK** をクリックします。



7 インストール先選択画面に戻ります。



次へ をクリックするとインストールが始まります。

8 セットアップが終了します。



閉じる をクリックします。

インストール手順（Macintosh をご使用の場合）

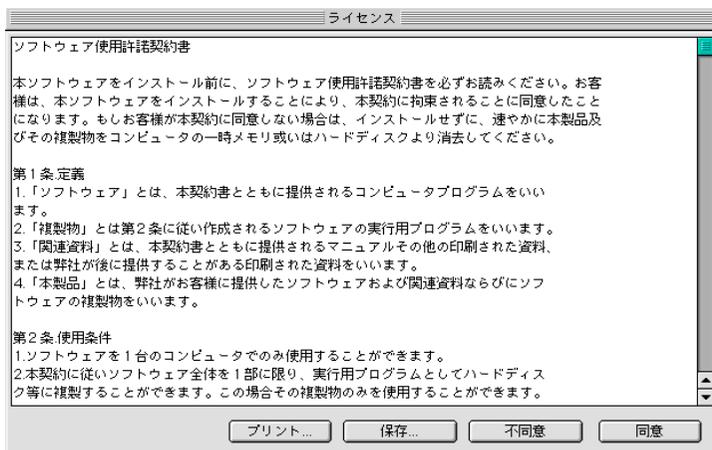
- 1 パソコンの電源を ON にし、Macintosh を起動します。
- 2 FineCut の CD-ROM をディスクドライブにセットします。
- 3 FineCut のアイコンをダブルクリックします。



- 4 FineCut のフォルダが開きます。
インストーラアイコンをダブルクリックします。



5 「ソフトウェア使用許諾契約書」を表示します。



よくお読みの上、契約に同意する場合は、**同意**をクリックします。

6 インストール方法、インストール先を選択します。

「標準インストール」を選択し、Illustratorをインストールしてあるディスクを選択します。

インストール先を変更する場合は、**ディスクの切り替え**をクリックし、ディスクを選択します。



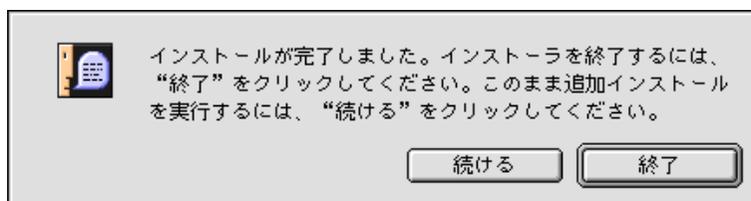
インストールをクリックします。

7 インストール先の Illustrator のバージョンを選択します。



ボタンをクリックするとインストールを開始します。

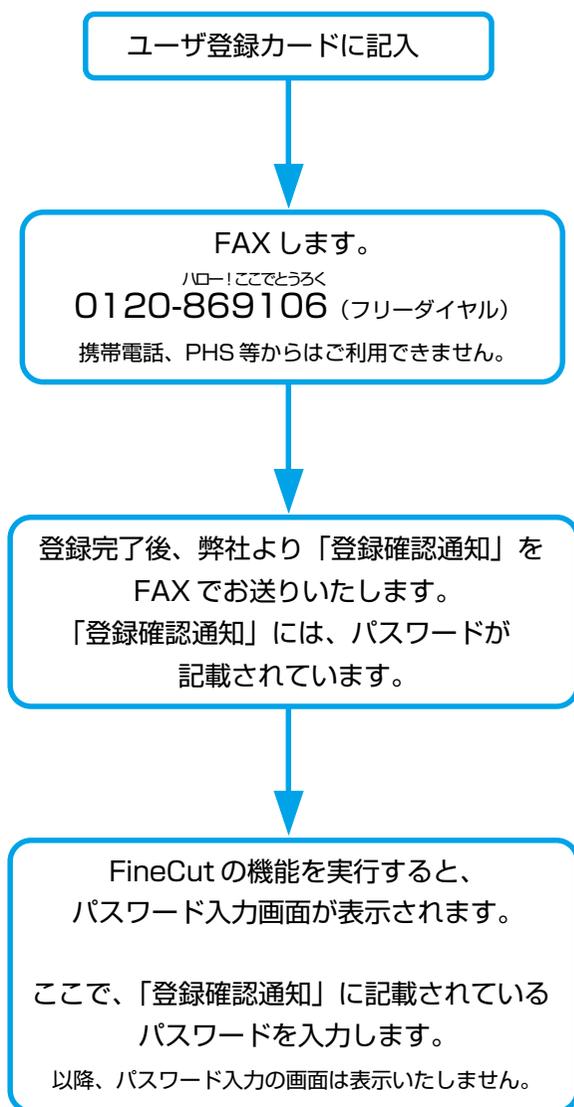
8 インストールを終了します。



終了 をクリックします。
インストールを続行する場合は、**続ける** をクリックします。

▶ ユーザ登録とパスワードの取得について ◀

同封のユーザ登録カードに必要事項をご記入のうえ、FAXでお送りください。
ユーザ登録が完了後、弊社ユーザー登録係よりパスワードを記載した登録確認通知をFAXにて発行いたします。
ユーザ登録していただきますと、無償バージョンアップ、サポートやミマキ新製品のお知らせ等のサービスが受けられます。必ず、ユーザ登録をしていただきますようお願い申し上げます。



FineCut には、パスワードの他にシリアル番号を入力するダイアログがあります。
(⇒ 13 ページ)

▶ **Macintosh 用 USB シリアル変換アダプタについて** ◀

Macintosh の USB ポートからプロッタのシリアルポートへ出力する場合は、USB-シリアル変換アダプタが必要です。

弊社では、オプション品の「USB-シリアル変換アダプタ（型番：OPT-SS036）」を推奨しております。

USB-シリアル変換アダプタは、コンピュータの OS（オペレーティングシステム）との問題により、正常に動作しないものがあります。他社製品をお使いになる場合は、OS との問題が無いか変換アダプタのメーカーにお問い合わせください。

この取扱説明書について

本書は、FineCutの機能について説明しています。

本文中の表記について

メニューに表示する項目は、[ファイル]メニューのように[]でくくっています。
ダイアログに表示するボタンは、**プロット**のように でくくっています。
「FC フレームレイヤー」等、表示の「FC」はFineCutの略です。

マークについて

(重要!) FineCut をお使いになる際に注意していただく事、または必ず実行していただく事について説明しています。



知っていると便利な方法を記載しています。

⇒ 関連した内容の参照ページを示しています。

FineCut ダイアログについて

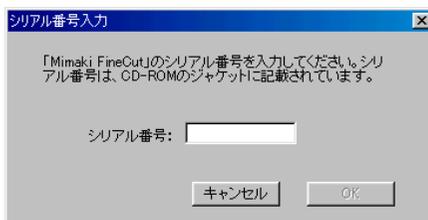
以下のダイアログはFineCutのダイアログです。
本文中では、「FineCut メニュー」と表記します。(⇒94 ページ)



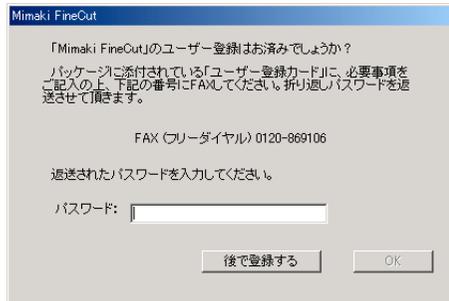
シリアル番号の入力

FineCut をインストール後、最初にFineCut 機能を実行すると、シリアル番号を入力するダイアログが表示されます。

CD-ROMが入っているジャケットに記載されているシリアル番号を入力し、**OK** をクリックします。



シリアル番号を入力後、パスワード入力ダイアログが表示されます。パスワードの取得方法は「ユーザー登録とパスワードの取得について」(⇒10 ページ)を参照してください。



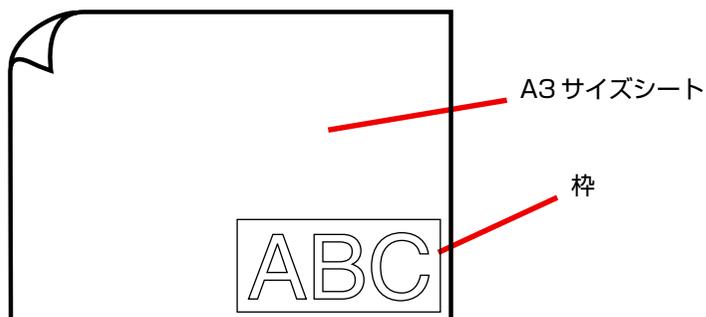
重要!

シリアル番号は、再インストールやバージョンアップ等で後日必要になります。紛失しないよう保管してください。

▶ カットしてみましょう

Mimaki CGシリーズを使用して、A3サイズのシートの右下に「ABC」をカットしてみましょう。

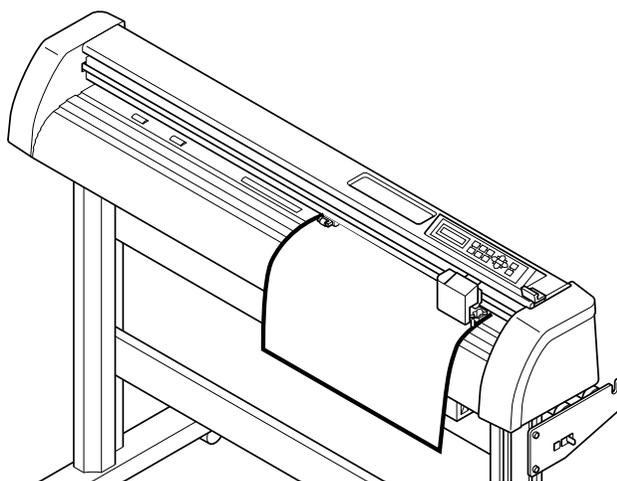
また、「ABC」の周り5mmの位置に、枠もカットしてみましょう。



1 プロッタにA3サイズのシートを横にセットします。

重要!

シートのセット方法、およびプロッタの取扱いにつきましては、プロッタ付属の取扱説明書をご覧ください。

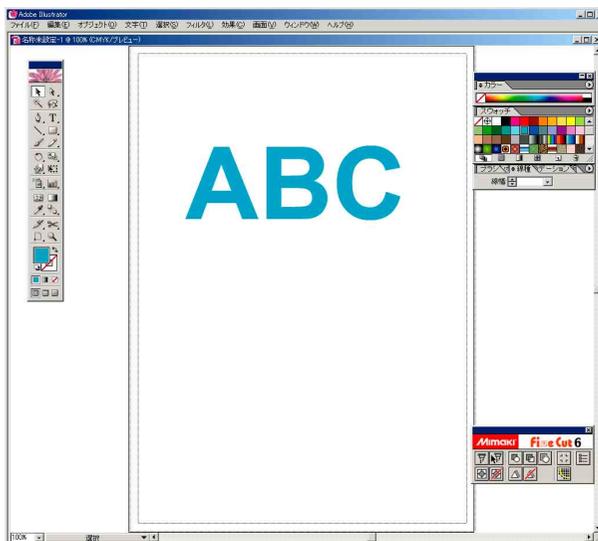


2 プロッタをリモートモードにします。

重要!

必ずリモートモードにしてください。ローカルモードのままだと、FineCutがプロッタにセットしたシートサイズを読み込むことができません。

- 3 Illustrator を起動し、新規書類を作成します。
用紙のサイズを A3 サイズに設定する必要はありません。
- 4 文字ツールを使用して、「ABC」と入力します。



「FineCutメニュー」は自動で表示されます。自動で表示されない場合は、Illustratorの[ウィンドウ]メニューから「FineCutメニューを表示」を選択します。



5 「FineCutメニュー」の[プロッタ/ユーザ設定...]ボタンをクリックします。

またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[プロッタ/ユーザ設定...]を選択します。



6 プロッタの設定を行います。

「プロッタ」、「通信条件」は、必ずプロッタと同じ設定値にしてください。
(⇒96ページ)

重要!

入力する値がプロッタ側の設定値と異なると、正常にカットが行えません。

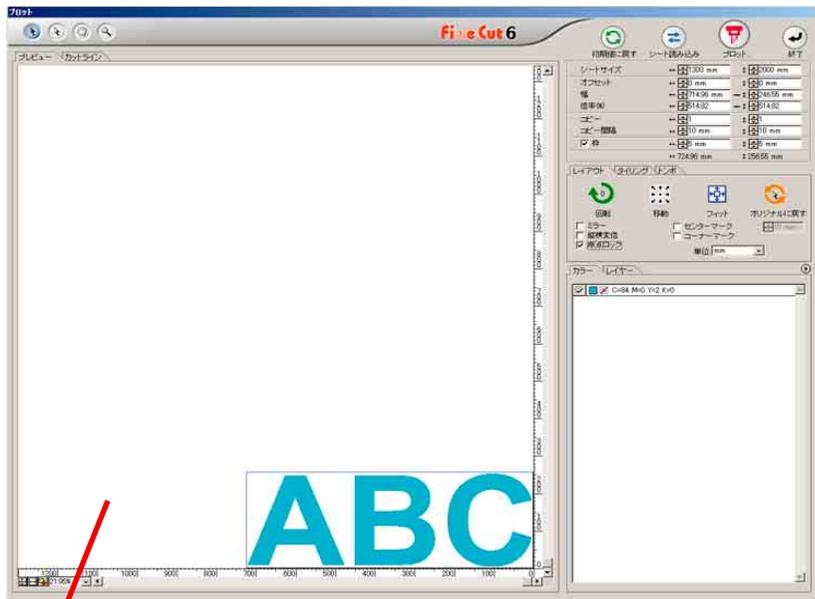


設定 をクリックします。

7

「FineCut メニュー」の[プロット]ボタンをクリックします。

または Illustrator の [ファイル] メニューの [FineCut] から、[プロット] を選択します。



有効カットエリア

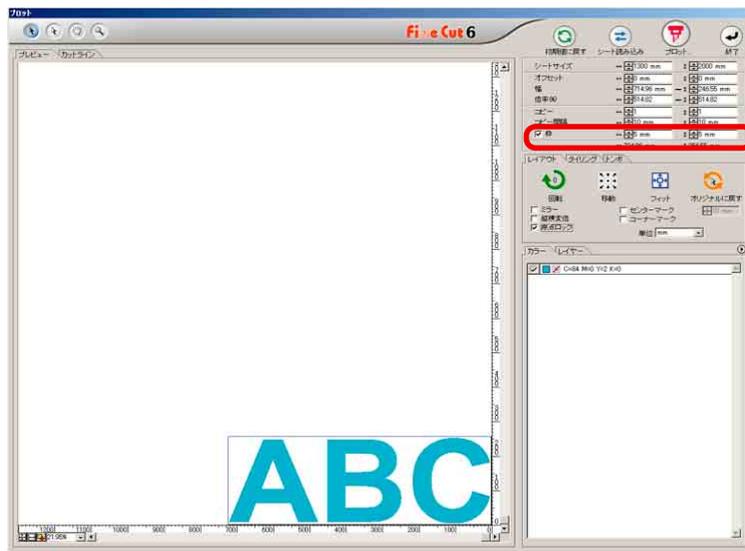
(Mimaki CF/CF2/DC シリーズでは、原点が左下のため、「ABC」は左下に表示します。)

重要!

⇄ シート読み込みボタンの左横に ⚠ マークが表示される場合は、メディアのシートサイズが読み込まれていません。プロッタとの接続を確認し、プロッタをリモート状態にした後、⇄ シート読み込みボタンをクリックしてシートサイズを読み込んでください。

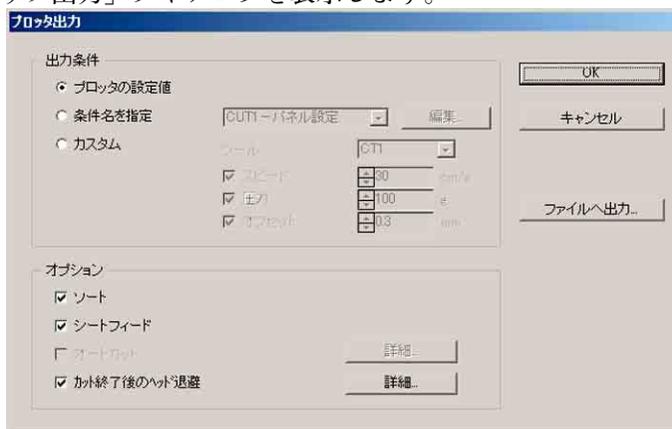
8 枠を設定します。

オブジェクトの周囲5 mmの位置に、矩形の枠をカットするように設定してみましょう。枠のチェックボックス☐をクリックし、チェックを付けます。横5 mm 縦5 mmと入力します。



9 プロットボタンをクリックします。

「プロッタ出力」ダイアログを表示します。



出力に関する設定を行います。(⇒ 109 ページ)

プロッタで設定した出力条件を使用する場合は、「プロッタの設定値」を選択してください。

重要!

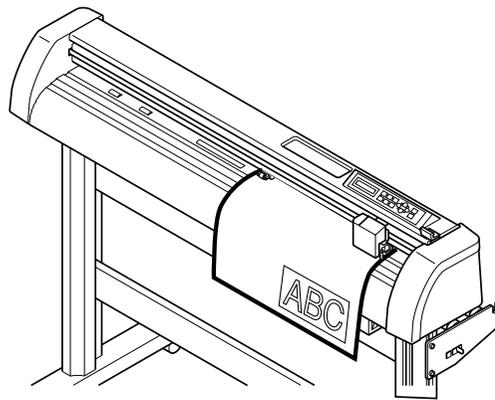
必ず、プロッタにセットしてあるメディアにマッチした条件を設定してください。条件が異なる場合、正常なカット結果が得られないことがあります。

10

プロット ボタンをクリックします。

オブジェクトのカットを開始します。

シートの右下が原点のため、シートの右下原点位置に（Mimaki CF/CF2/DCシリーズでは左下）カットされます。



11

 終了ボタンをクリックします。

プロットダイアログボックスが閉じます。

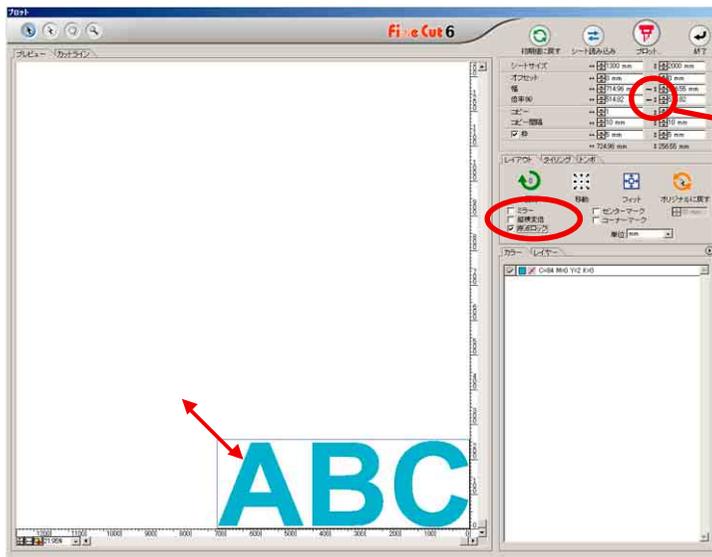
高度な使い方

オブジェクトを拡大 / 縮小する

オブジェクトの拡大縮小は、オブジェクトの端にマウスポインタを合わせてドラッグします。

1. 横幅と縦幅の比率を変えないでの拡大 / 縮小

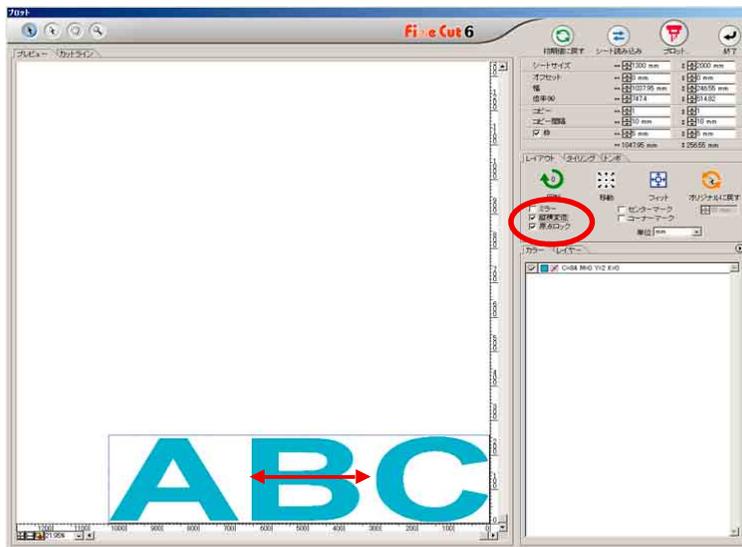
レイアウトメニューの「縦横変倍」のチェックボックスのチェックを外します。オブジェクトのスミをマウスでドラッグして拡大 / 縮小します。

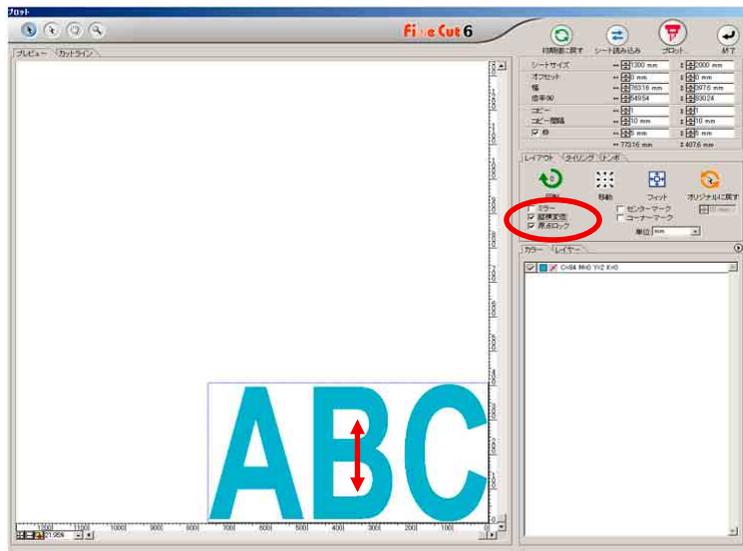


この表示は、横幅と縦幅の比率が固定していることを示します。
(⇒ 103 ページ)

2. 横幅または縦幅のみの拡大 / 縮小

レイアウトメニューの「縦横変倍」のチェックボックスにチェックを付けます。オブジェクトの左右どちらかの端、またはオブジェクトの上下どちらかの端をマウスでドラッグして拡大 / 縮小します。





- ・「縦横変倍」指定時にキーボードのshiftキーを押しながらドラッグすると、横幅と縦幅の比率を保ちながら拡大/縮小できます。
- ・横幅と縦幅のサイズを別々に変更した後に「縦横変倍」を無効にすると、変更したサイズの横幅と縦幅の比率を保持したまま拡大/縮小ができます。

正確な拡大/縮小を行う場合は、サイズ入力エリアの「幅」や「倍率」に値を入力します。

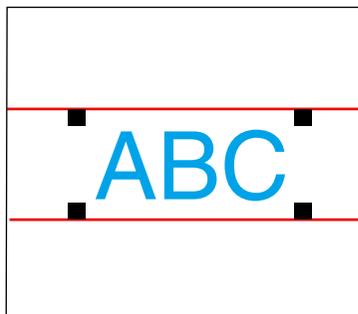
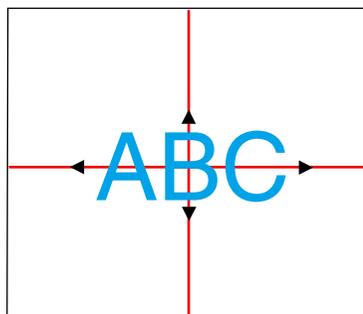
シートサイズ	↔ 200.05 mm	↓ 3000 mm
オフセット	↔ 0 mm	↑ 0 mm
幅	↔ 196.5 mm	↓ 68.13 mm
倍率(%)	↔ 150	↓ 150
コピー	↔ 1	↓ 1
コピー間隔	↔ 10 mm	↓ 10 mm
<input checked="" type="checkbox"/> 枠	↔ 5 mm	↓ 5 mm
	↔ 206.5 mm	↓ 78.13 mm

位置合わせ用のマークをつける (センターマーク/コーナーマーク)

オブジェクトの枠にマークをつけると、カットしたシールを貼る際に、簡単に位置合わせができます。

シールを貼る位置に目安となる罫線をひきます。

カットしたシールは、下図のように罫線にマークを合わせて貼ることができます。

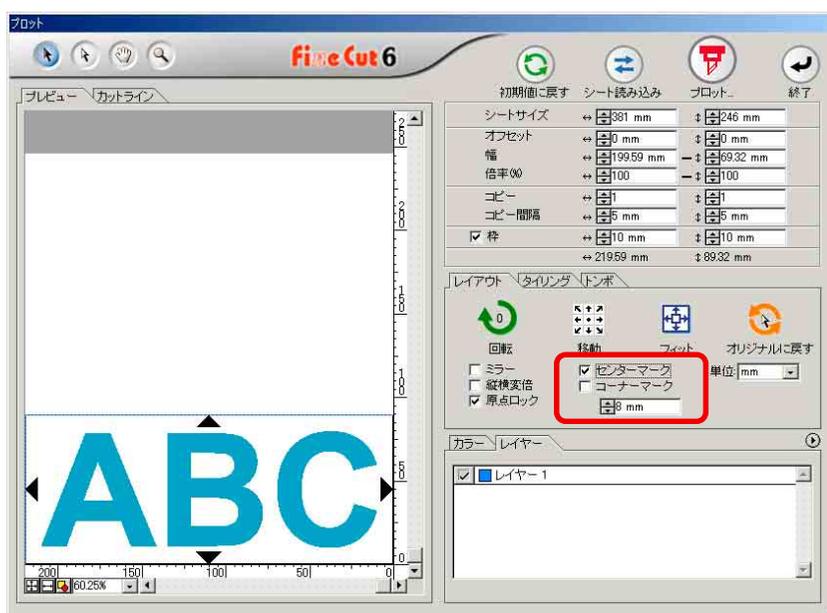


1. シールを貼る中心の位置を決め、罫線を引きます。
2. センターマークを罫線に合わせます。(希望の位置にシールを貼れます。)

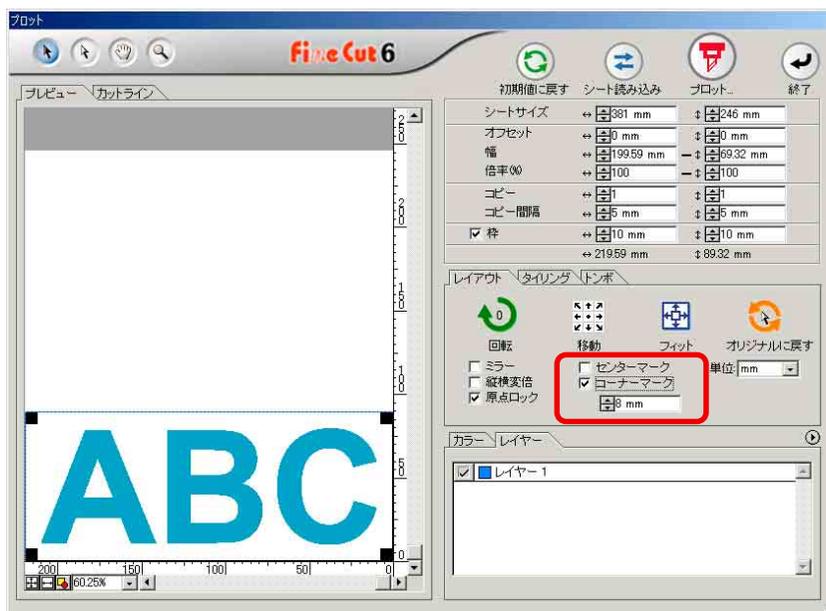
1. 目安にする罫線を引きます。
2. コーナーマークを罫線に合わせます。(水平にシールを貼れます。)

センターマークをつけてみましょう。

レイアウトメニューの「センターマーク」のチェックボックスにチェックを付け、マークのサイズを入力します。



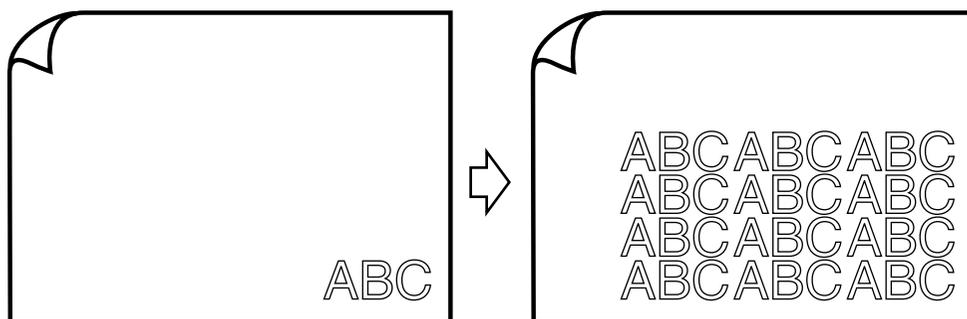
コーナーマークをつけてみましょう。
レイアウトメニューの「コーナーマーク」のチェックボックスにチェックを付け、
マークのサイズを入力します。



1つのオブジェクトを複数カットする（コピー）

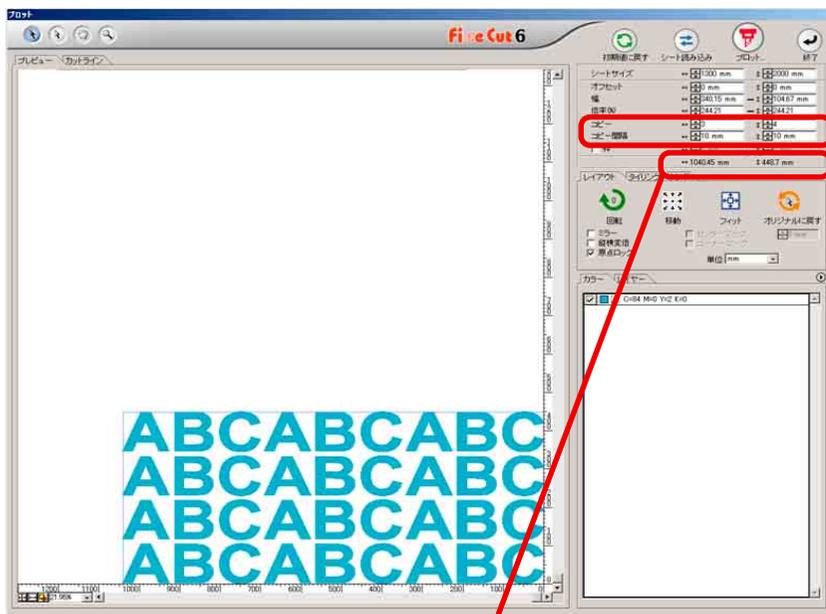
1つのオブジェクトを縦方向、および横方向に複数カットする場合は、コピー機能を使用します。

A3サイズのシートに、「ABC」を下記のようにカットしてみましょう。



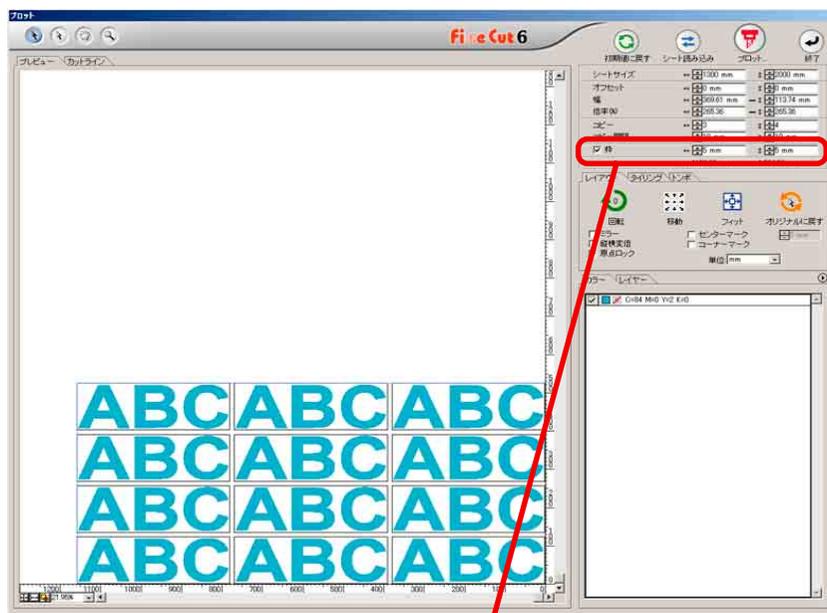
「コピー」の横方向に「3」、縦方向に「4」を入力します。

オブジェクト間の余白（横方向、縦方向）を10mmに設定します。



全体長は、全てのオブジェクトの余白を含んだサイズを表示します。

オブジェクトから 5 mm 離れた位置に枠を付けます。



全体長は、枠のサイズを含めて表示します。

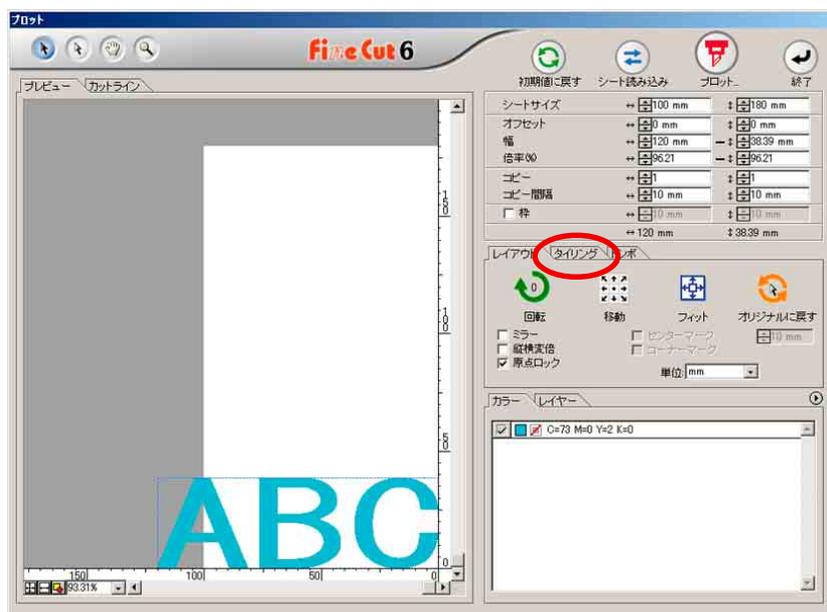
重要!

枠を設定すると、各オブジェクトごとに枠を作成します。コピーしたオブジェクトを1つの枠で囲むことはできません。

1つのオブジェクトを分割してカットする (タイリング)

1つのオブジェクトを分割してカットする場合は、タイリング機能を使用します。この機能を使うと、シート幅より大きい看板を作成できます。ここでは分割した各オブジェクトを、「タイル」と呼びます。オブジェクトを分割してみましょう。

1 「タイリング」タブを選択します。



2

分割方法を設定します。(⇒ 105 ページ)



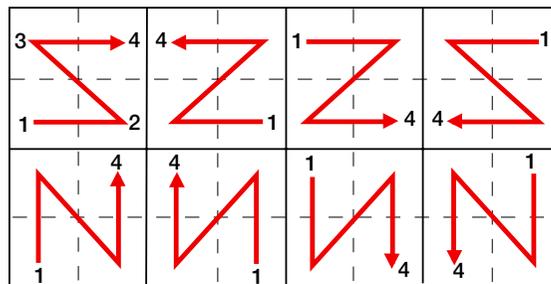
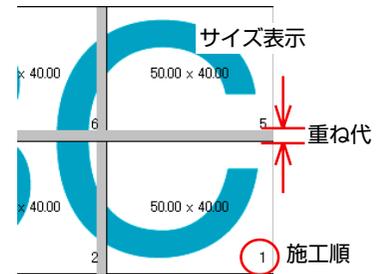
①全タイル： タイルサイズを入力します。全て同じサイズで分割します。

②詳細指定： カットエリアの分割線をドラッグして、自在に分割します。

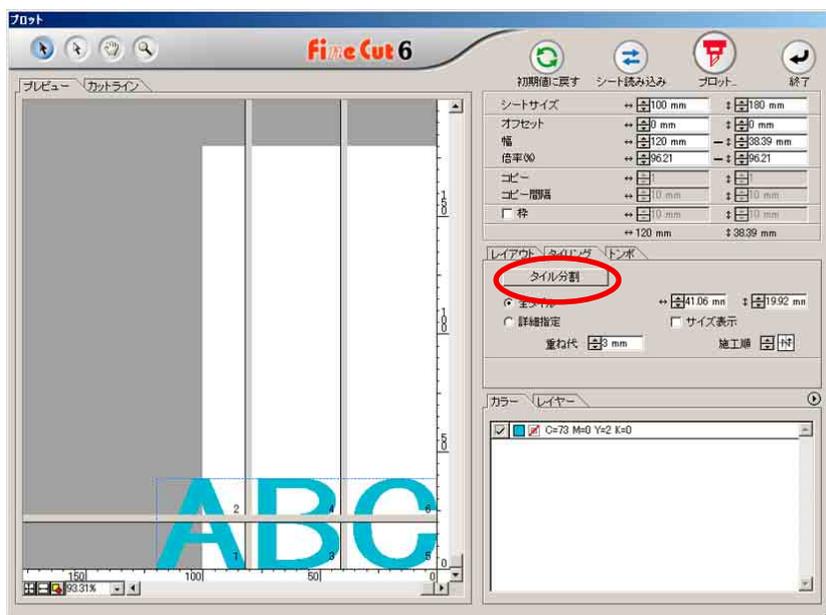
③重ね代： タイルの重ね代を設定します。

④サイズ表示： 分割した各タイルサイズを表示します。

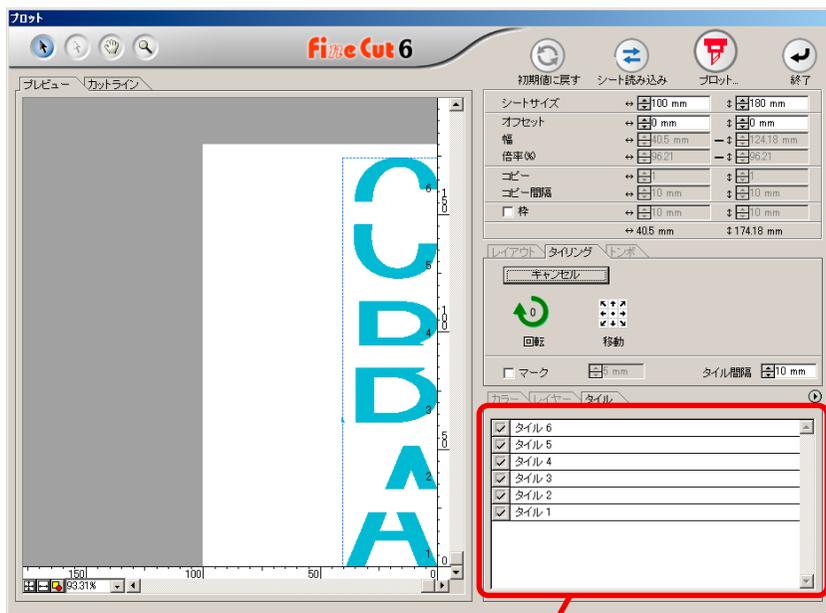
⑤施工順： カット順序を選択します。カットしたタイルを、看板などに張り合わせる順番です。各タイルの右下に、カット順序を表示します。この順番によって、タイル番号、重ね代の作成方向が決定します。次の 8 種類から選択できます。



3 タイル分割 ボタンをクリックします。



4 オブジェクトが分割して表示されます。

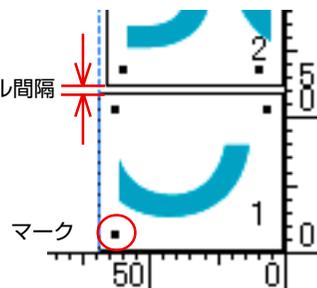


タイル・リストを表示します。

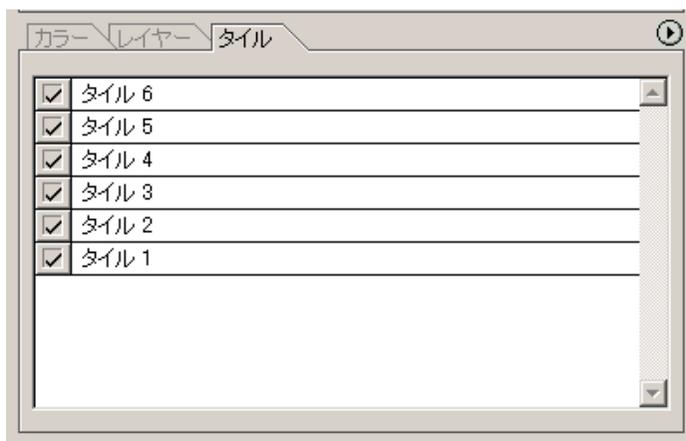
5 分割したタイルをレイアウトします。



- ①回転： 分割したタイルを回転させることができます。
- ②移動： 分割したタイルをシート内で移動させることができます。
- ③マーク： 各タイルにマークをつけます。マークサイズを選択または入力します。カット後、マークを合わせると、分割前のオブジェクトの形を復元できます。
- ④タイル間隔： 連続してカットする場合、各タイルをカットする間隔を入力します。
- ⑤キャンセル： タイル分割をキャンセルします。



6 タイルリストからカットするタイルを選択し、プロットします。



影 / ふち取りをつける

オブジェクトに影やふち取りをつけてみましょう。
FineCutでは影やふち取りが簡単に作成できます。

- 1 オブジェクトを選択します。



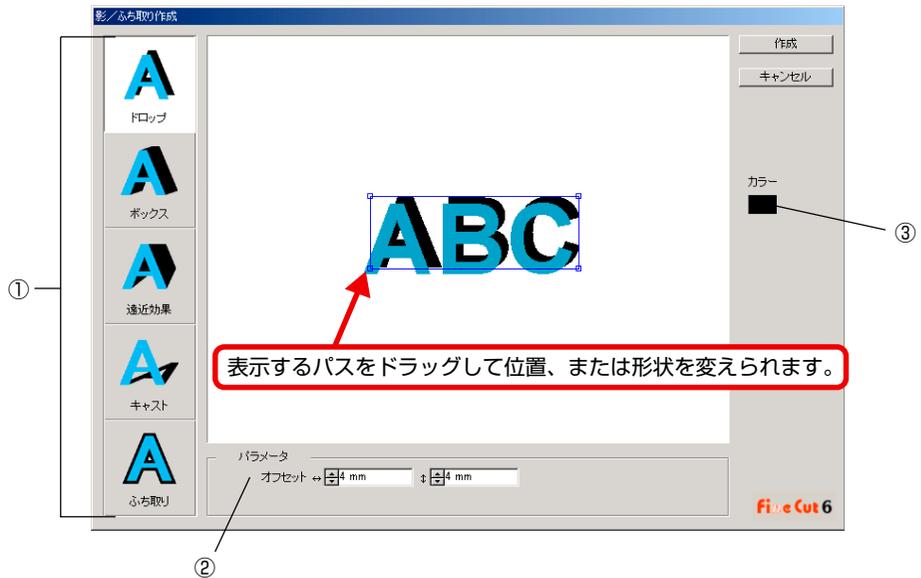
- 2 「FineCutメニュー」の[影/ふち取り作成]ボタンをクリックします。

またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[影/ふち取り作成]を選択します。



3

作成する影、またはふち取りを設定します。

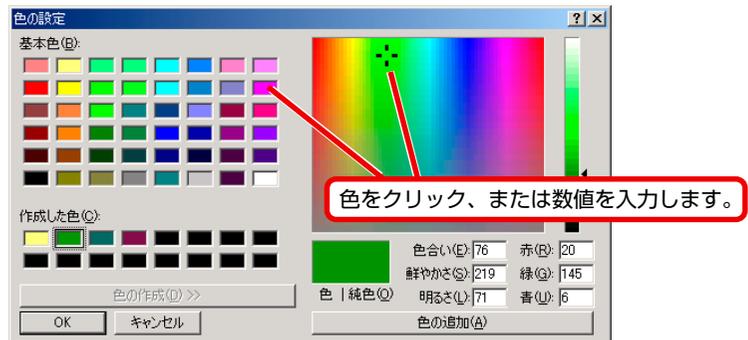


①形状： 影の形状（４種類）、または「ふち取り」を選択します。



②パラメータ： オブジェクトから影までの長さ（オフセット値）を設定します。「遠近効果」を選択した場合は、遠近感を％で設定します。「ふち取り」を選択した場合は、角の形状と比率を設定します。（フレーム作成を参考にしてください。⇒55ページ）

③カラー： 影の色を設定します。クリックすると、「色の設定」ダイアログを表示します。（Windows版とMacintosh版ではダイアログが異なります。以下のダイアログはWindows版の場合です。）



色を選択、または数値入力し、**OK**をクリックします。

重要!

影またはふち取りのカラーは、RGB カラーで指定します。書類のカラーモードが CMYK の場合は、指定した RGB カラーで表示できないことがあります。その場合は、CMYK カラーで表現可能な最も近いカラーに変換されます。

4

作成 をクリックすると、影またはふち取りが作成されます。



(影の色：黒 / オフセット縦横 4mm / ドロップの影の場合)



影、またはふち取りのアンカーポイントが多い場合は、Illustrator の [オブジェクト] から [パス] を選択し、「単純化」を実行してください。(Illustrator 9.0 以上)

作成した影、またはふち取りを消去する場合は、「FineCut メニュー」の「影 / ふち取り削除」ボタンをクリックします。



重要!

作成した影、ふち取り線を Illustrator で編集すると、削除できない場合があります。

輪郭を抽出する

ビットマップイメージをカットするためのアウトラインを作成します。
また、色を指定し、同じ色の部分のみアウトラインを作成することも可能です。

1 Illustrator で画像を開きます。

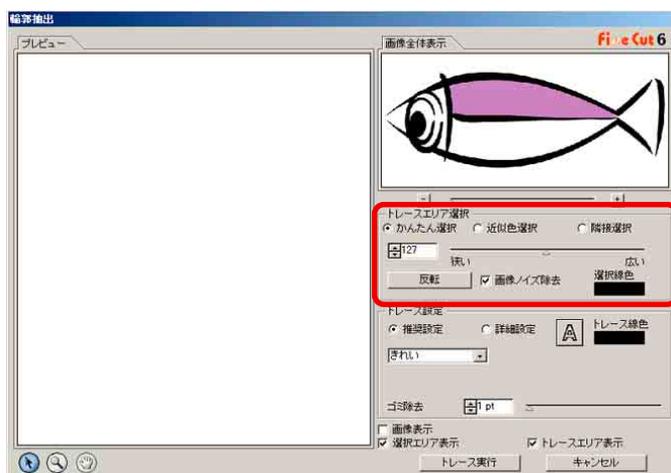
2 オブジェクトを選択し、「FineCutメニュー」の[輪郭抽出]ボタンをクリックします。

または、Illustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[輪郭抽出]を選択します。

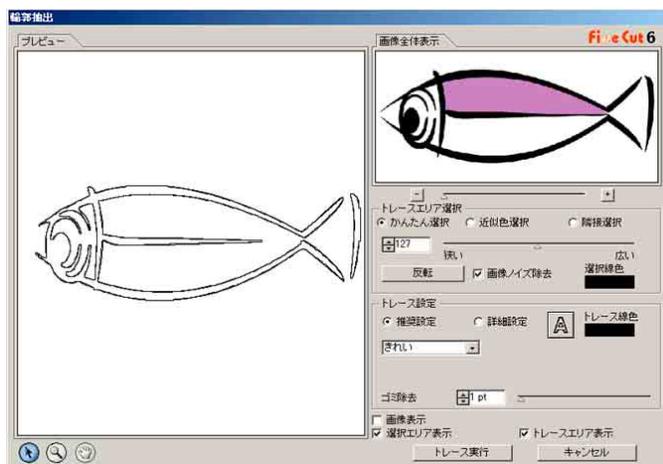


3 抽出するエリアの選択方法を設定します。

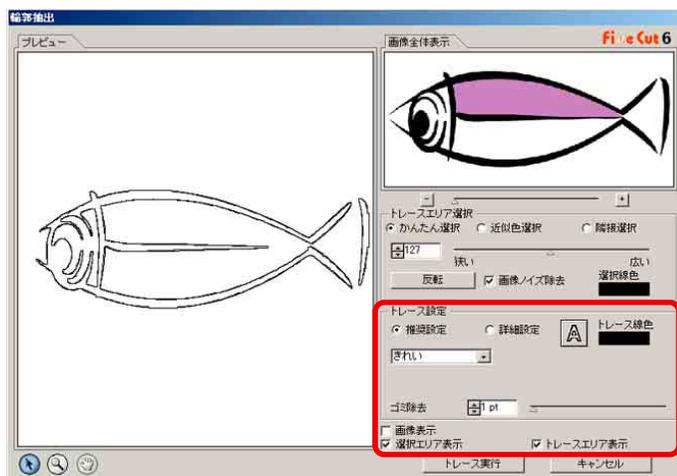
(ダイアログ詳細⇒ 112 ページ)



- 4 画像を確認しながら抽出エリアの調整をします。
スライダを使用するか値を入力してください。

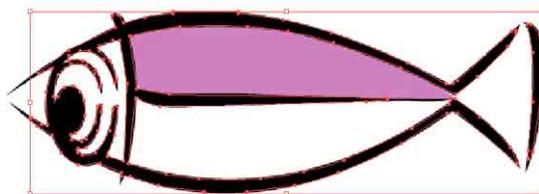
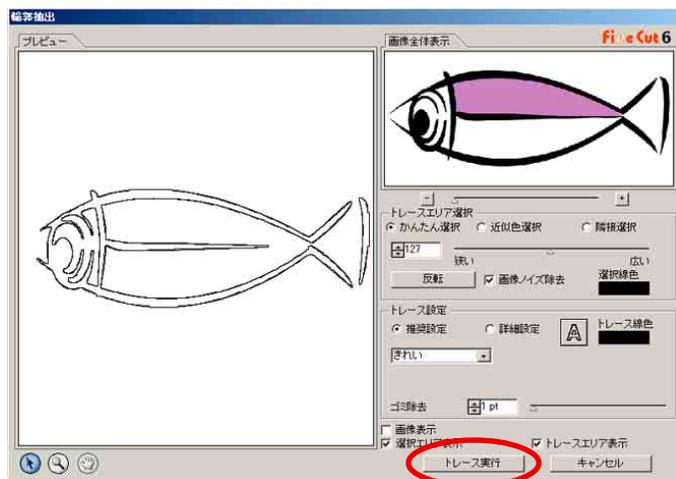


- 5 トレース設定を行います。
(ダイアログ詳細⇒113 ページ)



6

トレース実行 ボタンをクリックします。
「FCトレースレイヤー」に輪郭線が作成されます。



線分を修正する

輪郭抽出で作成したアウトライン（線分）の修正や変更を簡単に行うことができます。

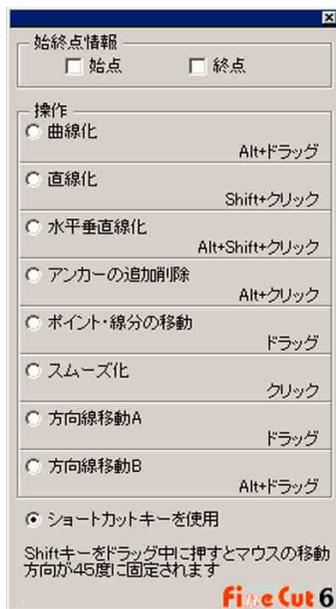
1 輪郭抽出をした画像を Illustrator で開きます。

必要に応じて Illustrator のズームツールで修正する線分を拡大します。



2 「Illustrator ツールパレット」の[線分修正ツール]ボタンをクリックします。

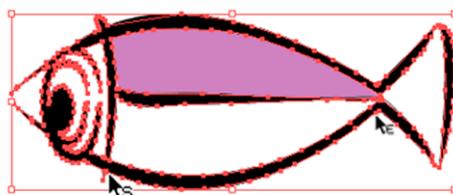
線分修正ツールが表示されます。（ダイアログ詳細⇒114 ページ）



3 始点と終点を指定します。

始点：カーソルをアンカーポイントに近付けると、カーソルに「S」が表示されます。アンカーポイントをクリックし、始点を指定します。

終点：始点が選ばれている場合は、カーソルをアンカーポイントに近付けると、「E」が表示されます。アンカーポイントをクリックし、終点を指定します。



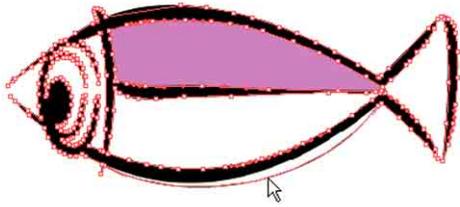
4 操作方法にチェックを入れます。

ここでは「線分の曲線化」を例に説明します。



「ショートカットキーを使用」にチェックを入れると、マウスとキーボードの操作で修正ができます。Windowsの場合はAltキー、Macintoshの場合はOptionキーを使います。

- 5 線分上をドラッグし曲線化します。
マウスを離した位置で確定されます。



シール周りの不要な部分を剥がしやすくする

カットしたシールの不要な部分を剥がしやすくするために、オブジェクトまわりにカット線（切り込み）をいれておくと便利です。ここでは、オブジェクト外にのせるカット線を、「カス取り線」と呼びます。

カス取り線作成では、カット線とフレーム（枠）を作成します。



「カス取り線ダイアログ」で表示する単位は、Illustratorの設定が反映されます。単位を変更する時は、Illustratorの[編集]または[ファイル]-[環境設定]の「単位」で設定してください。

重要!

厚手のシートでカス取り線をカットすると、成果物を傷つける可能性があります。厚手のシートをカットする場合は、カス取り線を設定しないでください。

1 オブジェクトを選択します。



2 「FineCut メニュー」の[カス取り線作成]ボタンをクリックします。

またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[カス取り線作成]を選択します。

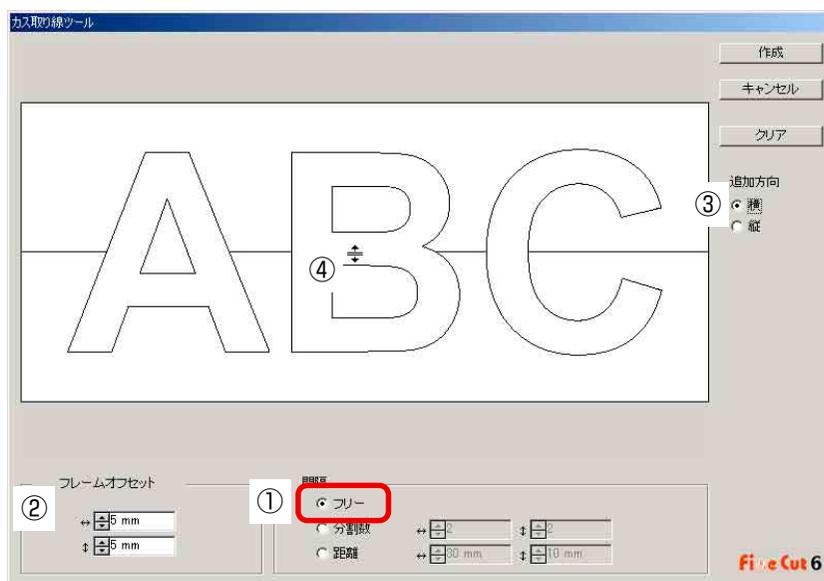


3 カス取り線を設定します。

設定方法は3通りあります。

1. フリー設定

- ① 「間隔」 から「フリー」を選択します。
- ② 「フレームオフセット」にオブジェクトからフレーム（枠）までの距離を設定します。（下図では、フレームまでの縦方向距離を 5 mm に設定しています。）
- ③ 「追加方向」でカス取り線を作成する方向（横または縦）を選択します。
- ④ カス取り線を作成する位置でクリックします。



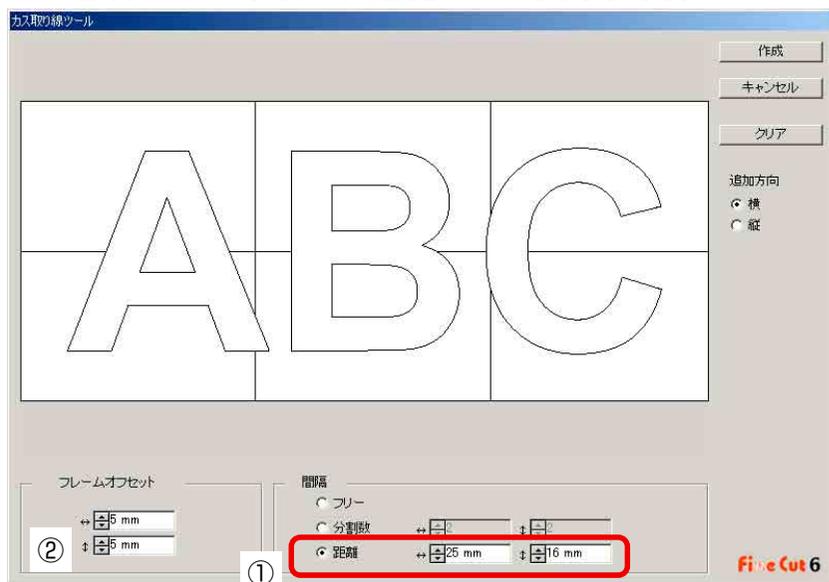
2. 分割数設定

- ① 「間隔」 から「分割数」を選択します。
横、縦それぞれに分割する数を選択、または入力します。
- ② 「フレームオフセット」にオブジェクトからフレームまでの距離を設定します。（下図では、フレームまでの縦方向距離を 5 mm に設定しています。）



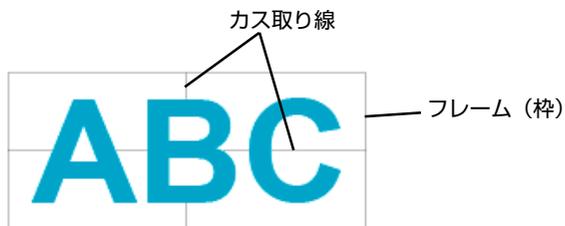
3. 距離設定

- ① 「間隔」 から「距離」 を選択します。
横、縦それぞれにオブジェクト間の長さを選擇、または入力します。
- ② 「フレームオフセット」 にオブジェクトからフレームまでの距離を設定します。
(下図では、フレームまでの縦方向距離を 5 mm に設定しています。)



キャンセルをクリックすると、カス取り線を作成せずにIllustrator画面に戻ります。
クリア をクリックすると、フレーム以外の全てのカス取り線を消去します。
カス取り線を1本ずつ消去する場合は、線をクリックして画面の端までドラッグします。

- 4 設定終了後、作成 をクリックします。



(分割数各方向 2 / フレームオフセット各方向 5mm の場合)

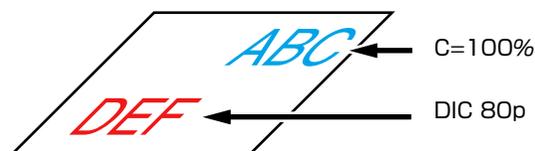
作成したカス取り線を消去する場合は、「FineCut メニュー」の「カス取り線削除」ボタンをクリックします。



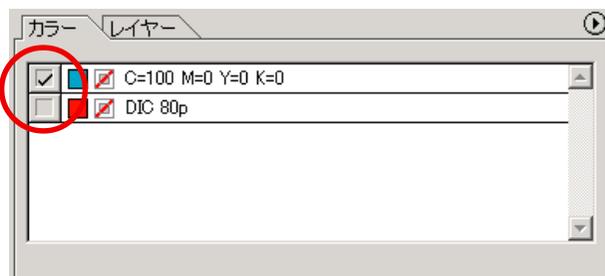
色別にオブジェクトをカットする

Illustrator 上で複数の色のオブジェクトがある場合、指定した色のオブジェクトのみをカットできます。

青い色 (C=100%) の「ABC」のみをカットしてみましょう。

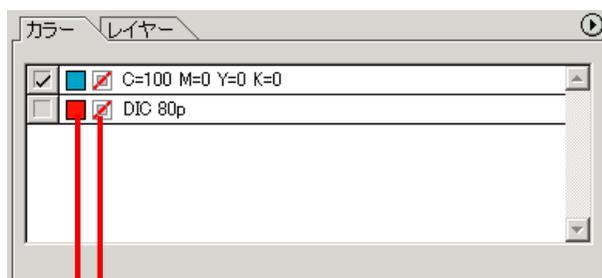


プロットダイアログのカラーリストは、オブジェクトの色構成を表示します。「DEF」のカラー (DIC 80p) のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。カットエリアから「DEF」のオブジェクトが消えます。



カラーリストについて

カラーリストには、オブジェクトに使用している全ての色 (DIC 等の特色を含む) を表示します。また、オブジェクトの塗りと線の色を表示します。右上のボタンをクリックすると、さらに出力条件などを指定できます。



線の色：クリックすると、線の色の情報を表示します。

塗りの色：クリックすると、塗りの色の情報を表示します。

レイアウト位置が変わってしまう時は（原点ロックについて）

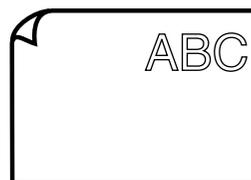
原点ロックの設定

作成したレイアウト位置を保持してカットする場合は、「原点ロック」のチェックボックスをチェックします。

ミラー
 縦横変倍
 原点ロック

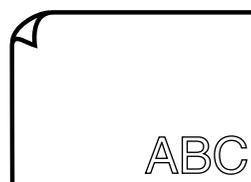


カット結果



チェックを付けない場合は、原点を基準にシートの右下に（Mimaki CF/CF2/DC シリーズは左下に）カットします。

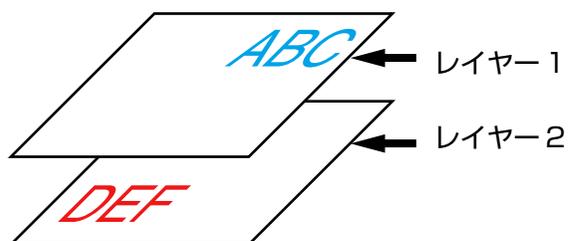
ミラー
 縦横変倍
 原点ロック



レイヤー別にオブジェクトをカットする

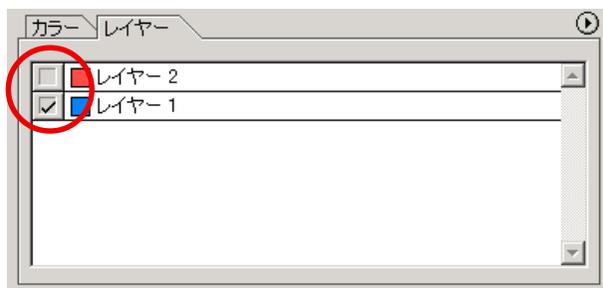
Illustrator 上で複数のレイヤーにオブジェクトがある場合、指定したレイヤーのオブジェクトのみをカットできます。

レイヤー1の「ABC」のみをカットしてみましょう。



プロットダイアログをレイヤーリストに変更します。

レイヤー2のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。



カットエリアからレイヤー2の「DEF」が消えます。

作成した「ABC」の位置を保持してカットする場合は、オプションの「原点ロック」のチェックボックスにチェックをつけます。(⇒43 ページ)

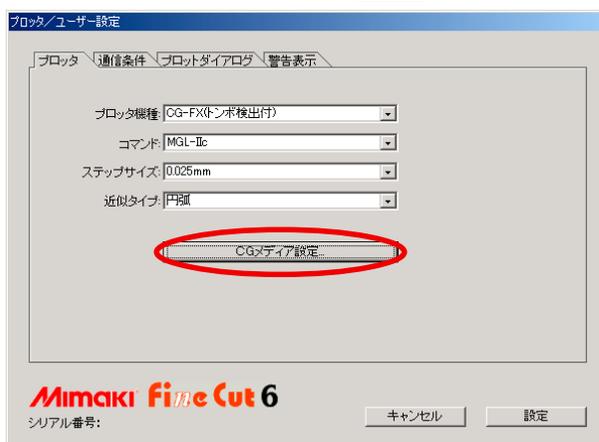
出力条件を設定する

重要!

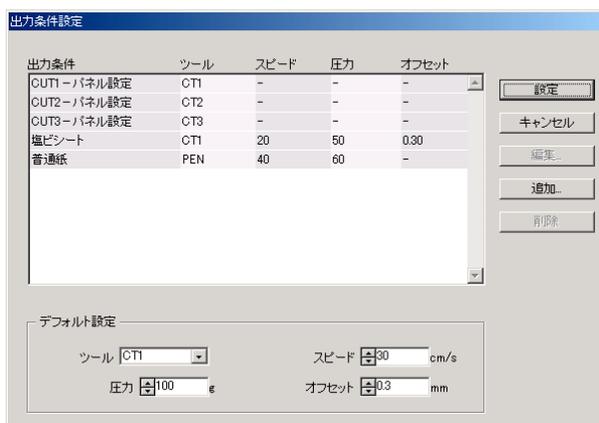
コマンドが「MGL-llc」の場合のみ、本機能を使用できます。

FineCutでは、プロッタの出力条件を50通りまで登録できます。
プロット時に出力条件をメディアによって切り替えることができます。

- 1 [プロッタ/ユーザ設定] で、****メディア設定** ボタンをクリックします。
または「プロッタ出力」ダイアログで**編集** をクリックします。(⇒109ページ)



- 2 「出力条件設定」ダイアログを表示します。



- ① **出力条件の内容を変更する**
変更するツールを選択して**編集** をクリック、またはダブルクリックします。
- ② **出力条件を追加する**
追加 をクリックします。

- 3 プロッタにセットするパラメータをチェックして、設定情報を入力します。

メディア/ツール作成

メディア名: CUT3

ツール: カッター3

スピード: 30 cm/s

圧力: 50 g

オフセット: mm

キャンセル OK

チェックしないパラメータは、プロッタ側の設定でプロットします。

- 4 **OK** をクリックすると、「出力条件設定」ダイアログのリストが更新されます。

出力条件設定

出力条件	ツール	スピード	圧力	オフセット
1-パネル設定	1	-	-	-
2-パネル設定	2	-	-	-
3-パネル設定	3	30	100	-
幅ビシット	5	2	120	0.30
普通紙	6	50	20	-
CUT3	3	30	50	-

デフォルト設定

ツール: 1 スピード: 30 cm/s

圧力: 100 g オフセット: 0.3 mm

設定 キャンセル 編集 追加 削除

- 5 **設定** をクリックします。

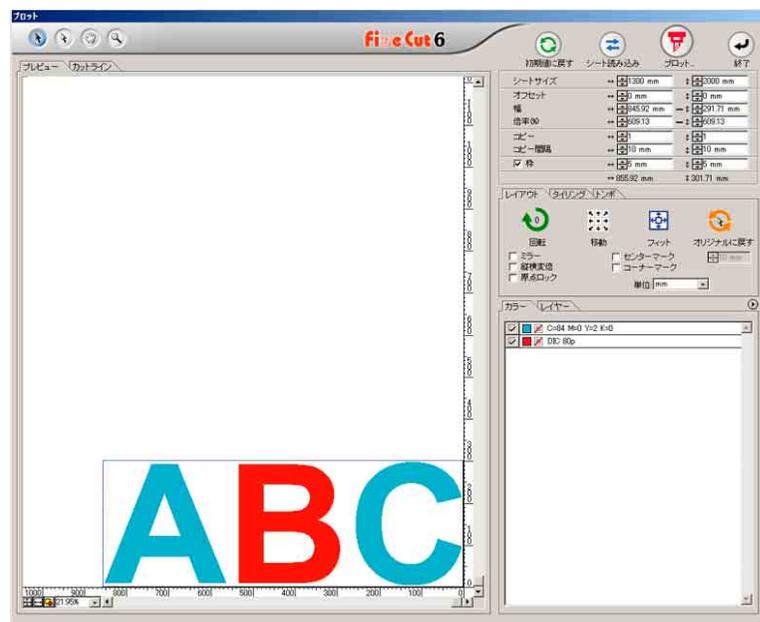
重要!

設定した値が、ご使用のプロッタの設定可能な制限値を超えている場合、プロッタの制限値でプロットします。設定可能な制限値については、ご使用のプロッタの取扱説明書を参照してください。

6 カットするデータをプロットします。

「FineCut メニュー」の[プロット]ボタンをクリックします。

または Illustrator の[ファイル]メニューの[FineCut]から、[プロット]を選択します。

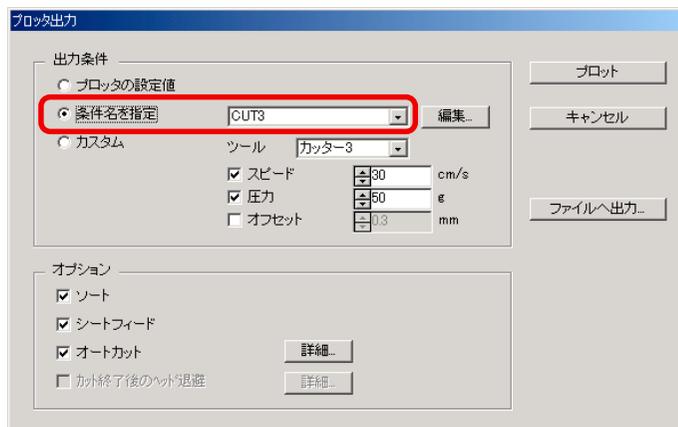


(カラー別、レイヤー別に出力条件を設定する場合⇒49 ページ)

7 プロットボタンをクリックします。

「プロッタ出力」ダイアログを表示します。

「条件名を指定」にチェックをつけると、「出力条件設定」ダイアログで設定した条件を選択できます。(⇒45 ページ)



編集 をクリックすると、「出力条件設定」ダイアログに移行し、出力条件の編集が行えます。(⇒45 ページ)



「カスタム」を選択して条件を指定すると、指定した条件でプロットできます。「出力条件設定」に条件を登録する必要はありません。

8 **プロット** をクリックします。



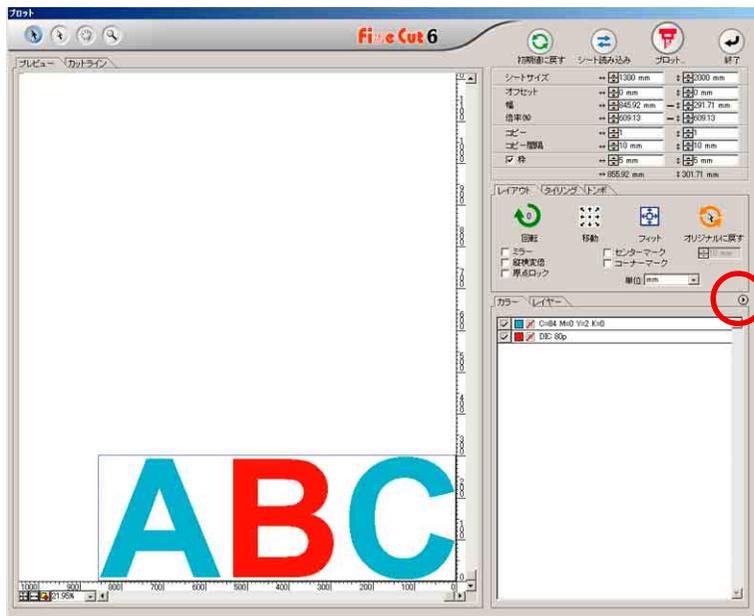
「条件名を指定」または「カスタム」の設定でプロットすると、プロッタ側の「スピード/圧力/オフセット値」が変更されます。プロッタ側のパネルで設定値を元に戻す場合は、プロッタをローカルモードにして **TOOL** ボタンを押してください。

<カラー別 / レイヤー別に出力条件を設定する>

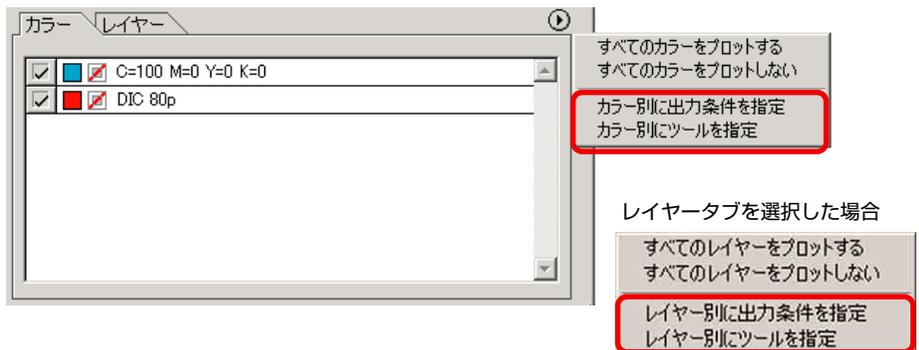
カラーリスト、レイヤーリストでそれぞれに出力条件を設定することができます。小さい文字や、オブジェクトの細かい部分は、色またはレイヤーを別に作成して、出力条件を変えてカットすると（カットスピードを遅くするなど）、きれいにカットできます。

また、CF/CF2/DCシリーズでは、カラーまたはレイヤー別にツールを指定することにより、カットと罫引きを一度に行うことができます。

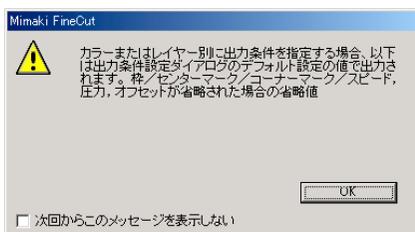
1 カラーリスト（レイヤーリスト）の右上ボタンをクリックします。



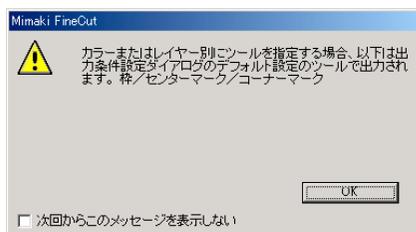
2 「カラー別に出力条件を指定」または「カラー別にツールを指定」を選択します。



3 以下のダイアログが表示されます。



「カラー/レイヤー別に出力条件を指定」を選択した場合

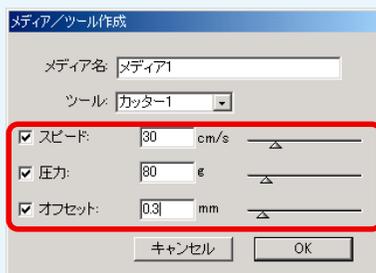


「カラー/レイヤー別にツールを指定」を選択した場合

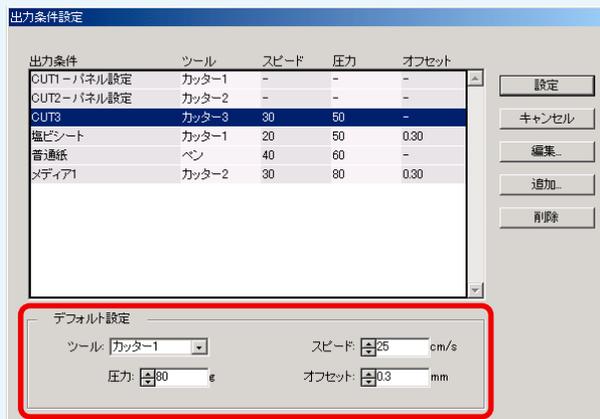
OK をクリックします。

重要!

「カラー/レイヤー別に出力条件を指定」を選択した場合、プロッタ側の設定値を使用できません。必ず、出力条件（スピード/圧力/オフセット）をすべて設定してください。



チェックボックスが指定されていない場合は、デフォルト設定の値でプロットします。

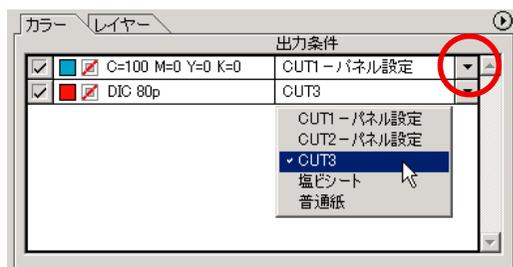


また、枠/センターマーク/コーナーマークを指定した場合も、上記のデフォルト設定の値でプロットします。

4 設定してある出力条件が右側に表示されます。

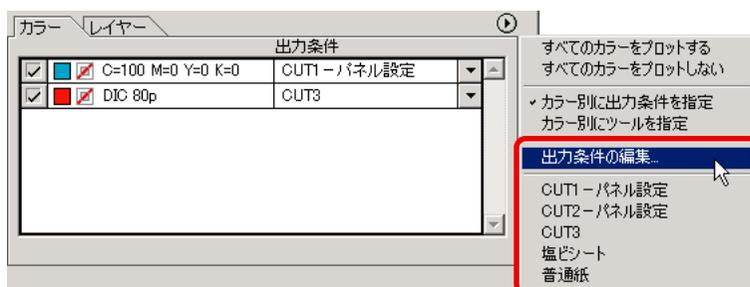
「レイヤー」タブを選択した場合も同様です。

 をクリックして、「B」のカラーリストの出力条件を、前述で追加した出力条件「CUT3」(⇒46 ページ) に変えてみましょう。



5 出力条件の内容を変更する場合は、右上のボタンをクリックして、「出力条件の編集」を選択します。

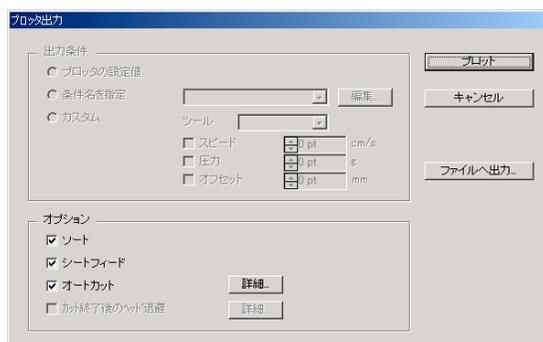
「出力条件設定」ダイアログに移行し、出力条件の編集を行うことができます。



「カラー別に出力条件を指定」または「カラー別にツールを指定」を選択すると、設定してある条件が表示されます。

ここで条件を選択すると、全てのリストが選択した条件に設定されます。

6 プロットボタンをクリックすると、「プロッタ出力」ダイアログが表示されます。



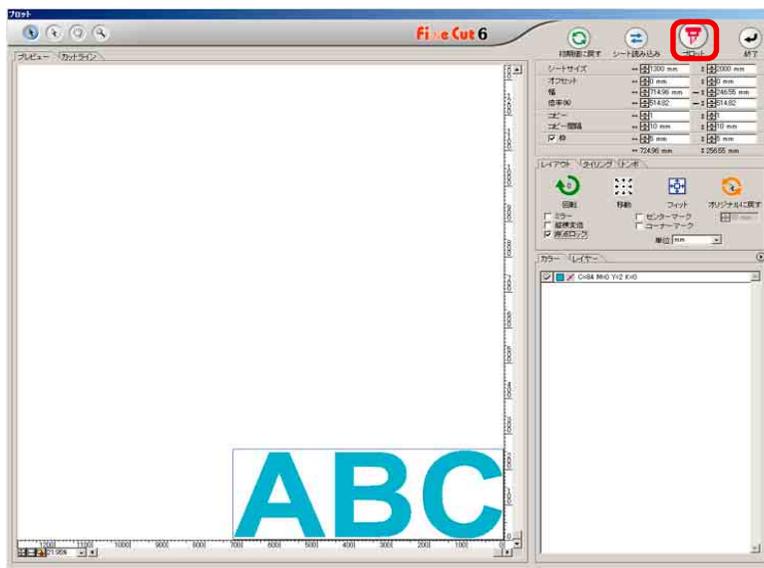
7 ボタンをクリックします。

カット終了後のヘッド位置 / 原点を設定する

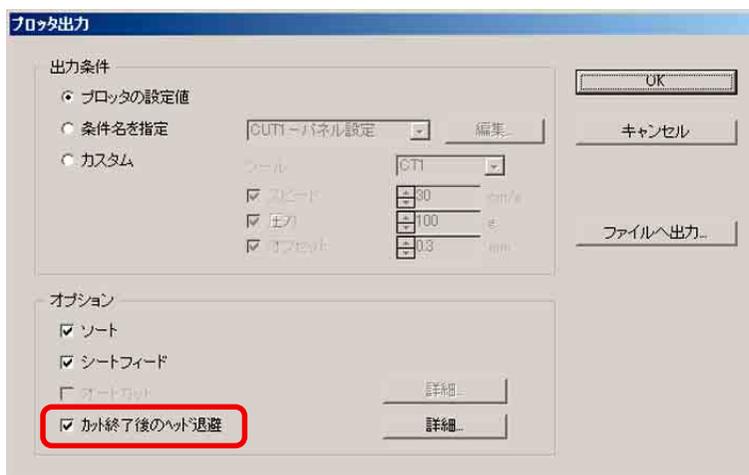
データを出力した後のプロッタのヘッド位置を設定できます。

カット終了後に原点を自動更新するように設定しておく、同じシートを使う場合に前回カットした位置に重ねてカットするミスを防ぐことができます。

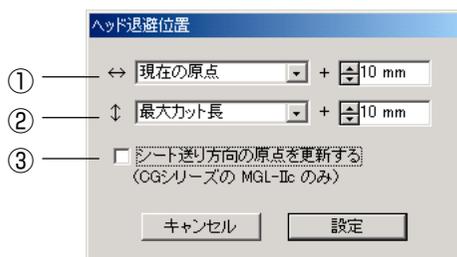
- 1  プロットボタンをクリックすると、「プロッタ出力」ダイアログを表示します。



- 2 「カット終了後のヘッド退避」チェックボックスにチェックをつけます。



- 3 ヘッド退避位置の変更や退避位置に原点を設定する時は、**詳細** をクリックして「ヘッド退避位置」ダイアログを表示します。



デフォルト設定

幅方向 : 現在の原点から幅方向
に +0mm
長さ方向 : 最大カット長から長さ
方向に +10mm
原点の更新 : しない

- ① 幅方向のヘッド退避位置を設定します。

基準の位置を「現在の原点」、「最大カット幅」の2つから選択できます。
例えば、上図は「現在の原点」から幅方向に +1 cm の位置にヘッドを退避する設定です。

- ② 長さ方向のヘッド退避位置を設定します。

基準の位置を「現在の原点」、「最大カット長」の2つから選択できます。
例えば、上図は「最大カット長」から長さ方向に +1 cm の位置にヘッドを退避する設定です。

- ③ ヘッド退避位置を原点に設定します。

(Mimaki CG シリーズのコマンドが MGL-IIc の場合のみ使用可能)

ここにチェックをしておくと、連続出力時などに便利です。

重要!

「シート送り方向の原点を更新する」にチェックをしている時は、プロッタ側で実行する「マウスウギリ」や「ブンカツカット」が正常に行われません。「マウスウギリ」「ブンカツカット」使用時はチェックを外してください。

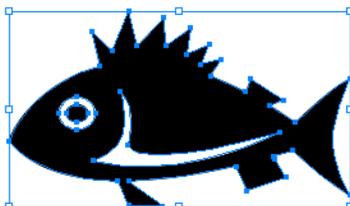
設定 をクリックすると、「プロッタ出力」ダイアログ (手順2) に戻ります。

- 4 **プロット** ボタンをクリックし、プロットを実行します。
データの出力後、設定した位置にヘッドが退避します。

2. フレーム(カットライン)を作成する

指定したオフセットでカットラインを自動作成します。

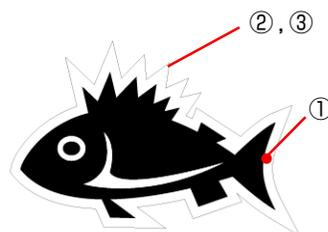
- 1 フレームをつけるオブジェクトを選択します。



- 2 「FineCut メニュー」の[フレーム抽出]ボタンをクリックします。
または Illustrator の [ファイル] メニューの [FineCut] から、[フレーム抽出...] を選択します。



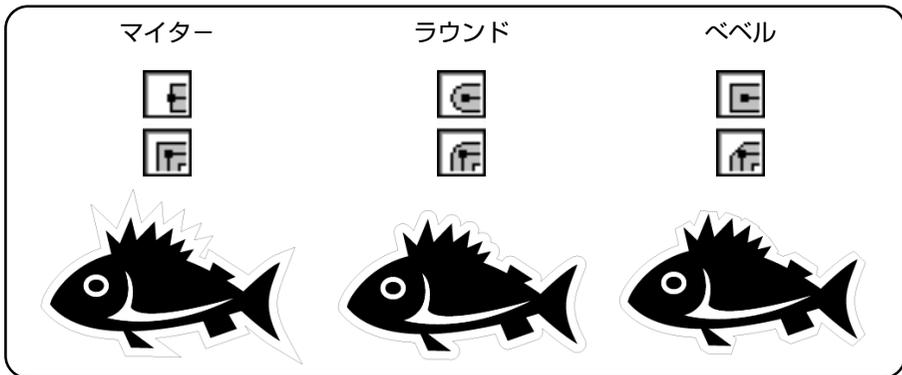
- 3 フレームのパスの設定を行います。



- ①オフセット： オブジェクトからフレームまでの距離を設定します。オフセット値にマイナスの値を入力すると、裁ち落としができます。
- ②角の形状： フレームの角の形状を設定します。



フレームの形状が不自然になる場合は、角の形状を変更すると改善することがあります。一般的に角が鋭角な程、またオフセットの値が大きい程、精度が落ちます。

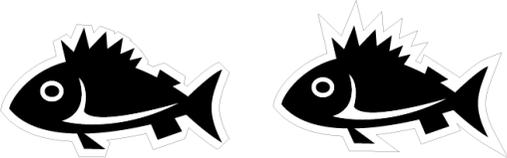


③角の比率： 角を形成する2本の線端が交わる位置までの比率を設定します。
(角の形状がマイターの時のみ有効)

例

1 mm

10 mm

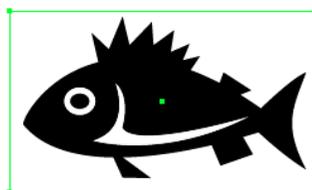


値が大きい程、鋭角になります。

をクリックすると、フレームを抽出し、「FCフレームレイヤー」にパスが作成されます。

3-1. CG シリーズでトンボを作成する

- 1 トンボを作成する位置にあわせて、
長方形ツールでオブジェクトを囲みます。
プリントするオブジェクトがあるレイヤーを選
んでから、長方形ツールでトンボ作成用の四角
囲みを作ってください。



- 2 「FineCut メニュー」の[トンボ作成]ボタンをクリックします。
またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[トンボ作成]を選
択します。



- 3 トンボの形状とサイズ、線幅を設定します。
トンボはオブジェクトのあるレイヤーに作成されます。



① 矩形をカット線として残す：

矩形（手順 1 で作成した長方形）をカットしたい場合、ここにチェックを入れます。

② トンボの周りを塗りつぶす：

ここをチェックすると、トンボの周りを赤色のスポットカラーで塗りつぶします。地の色が白以外のメディアで、トンボが正常に認識されない場合に利用するものです。この場合、トンボの周りを塗りつぶすことで認識出来ることがあります。

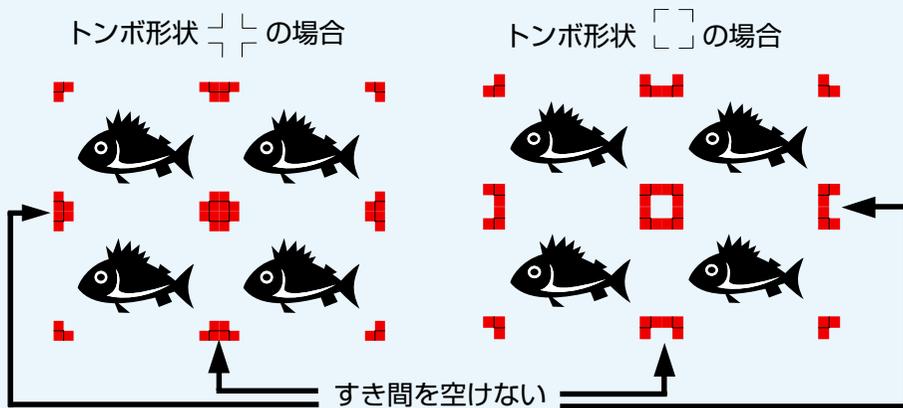
推奨色は赤（デフォルト）または白です。白で印刷する方法については、ご使用のプリンタの取扱説明書をご参照ください。一般的には、赤色のスポットカラーを白インクに割り当てることで印刷できます。

重要！

トンボの周りを赤または白色で塗りつぶしてもトンボを認識できない場合、他の色で塗りつぶしても効果は得られません。また、メディアやインクの種類によっては、トンボの色を変更しても認識されない場合があります。

重要!

この機能を使って連続カット（4-2、4-3 参照）する場合は、トンボのデータ間にすき間ができないように印刷してください。



③パターン情報を付加する：

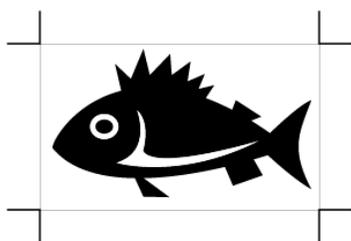
この機能は CG-75ML プロッタのみ対応しています。

ここをチェックすると、トンボにバーコード状のパターン情報を付加します。

このパターン情報と CG-75ML のトンボ読み取り機能により、複数の図柄の異なるシールのふちを一度にカットすることができます。

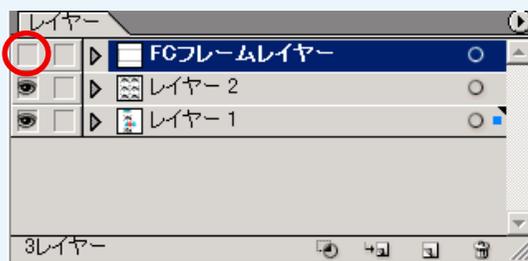
4

トンボが作成されます。このデータをプリンタで出力します。



重要!

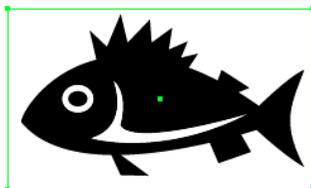
「フレーム抽出」(⇒55 ページ) や「矩形をカット線として残す」(⇒57 ページ) にチェックをつけて作成したデータをそのままプリントすると、カット線もプリントしてしまいます。「FC フレームレイヤー」のチェックを外してプリントしてください。



3-2. CF2/DC シリーズでトンボを作成する

- 1 トンボを作成する位置にあわせて、長方形ツールでオブジェクトを囲みます。

プリントするオブジェクトがあるレイヤーを選んでから、長方形ツールでトンボ作成用の四角囲みを作ってください。



- 2 「FineCut メニュー」の[トンボ作成]ボタンをクリックします。

またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[トンボ作成]を選択します。



- 3 サイズを設定します。(5～30mm)

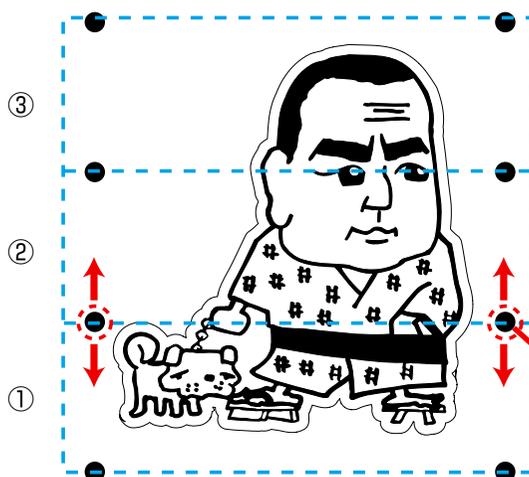
トンボはオブジェクトのあるレイヤーに作成されます。



① トンボ分割：

オブジェクトが大きすぎてプロッタのカットエリアに収まりきらない場合にチェックしてください。

トンボ分割をチェックすれば、分割したトンボエリアごとにカットできます。



生成した分割トンボは、Illustratorの「ダイレクト選択ツール」で選択して、位置を変更できます。

※トンボの位置を変更するときは**分割方向(左図の場合は縦方向)で揃っている**必要があります。

※トンボは左右(または上下)で**一対**になっています。位置変更をするときは必ず**一緒**に変更してください。

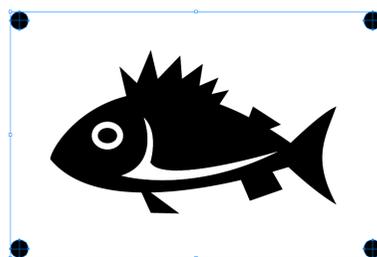
カットするとき①～③の3回に分けてカットします。

(詳しくは80ページ「トンボ分割カットをする」をご参照)

4

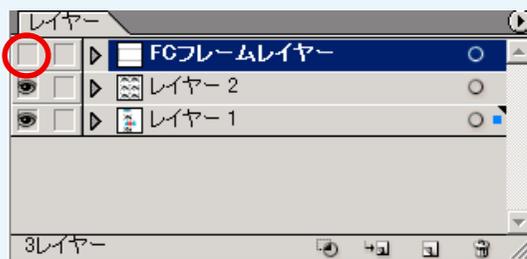
トンボが作成されます。

このデータをプリンタで出力します。



重要!

「フレーム抽出」(⇒55ページ)したデータをそのままプリントすると、カット線もプリントしてしまいます。「FCフレームレイヤー」のチェックを外してプリントしてください。



4-1. トンボを認識し、カットする (CG-EX シリーズ)

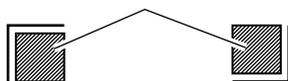
この機能は、CG-EX シリーズ、カッティングプロッタで対応しています。

1 出力結果をプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

トンボ検出方法の詳細は、「Mimaki CG-EX シリーズ」の取扱説明書をご参照ください。

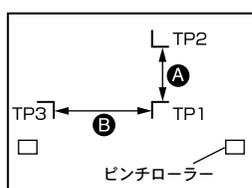
トンボ検出方法 (セミオート方法)

カッター先端の移動エリア



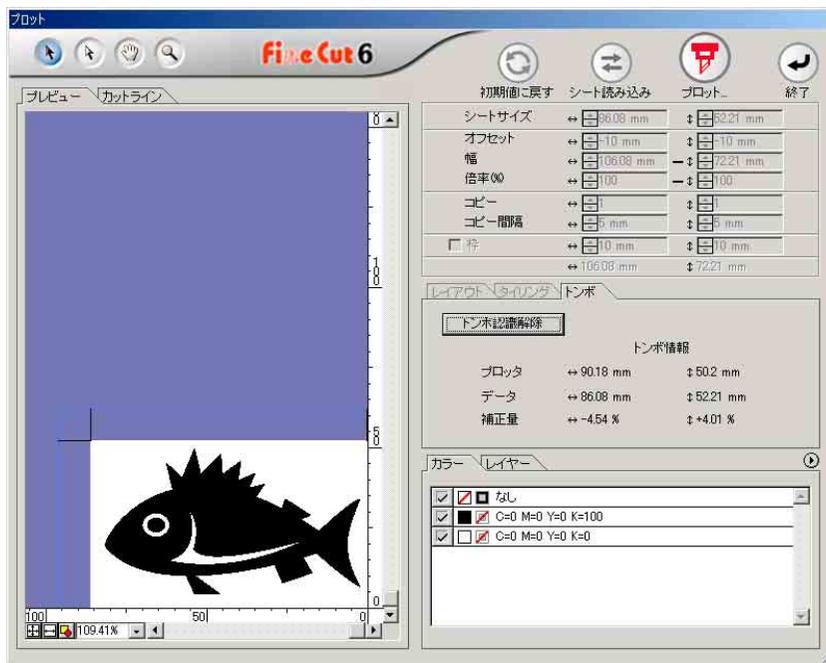
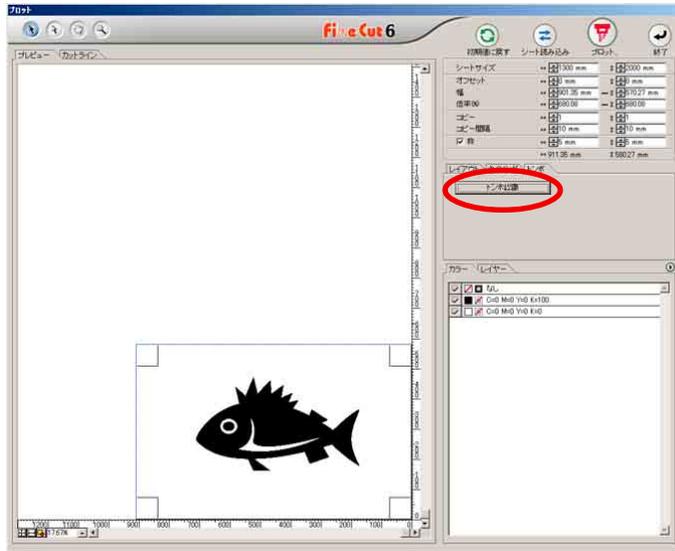
トンボ形状 1

トンボ形状 2



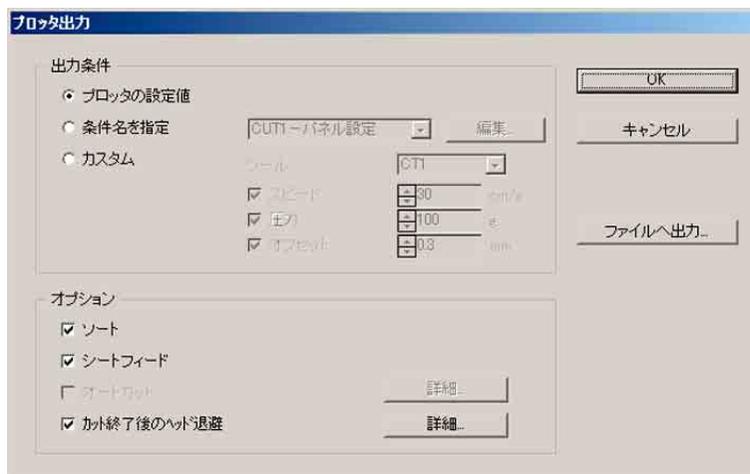
1. プリンタで出力したシートをプロッタに取り付け、シートセットレバーを奥側に倒します。
2. キーまたは キーを押し、シート検出を行います。
3. ジョグキーでカッターの先端を左図のエリア内に移動します。
4. キーを押します。トンボ検出が始まります。
5. トンボ検出後、TP1-TP3間の長さ(A)を表示します。 キーを押します。
Fine Cut は自動でサイズを補正するので、ジョグキーで実サイズを登録する必要はありません。
6. TP1-TP2間の長さ(B)を表示します。 キーを押します。
7. 原点が設定されます。
8. キーを押し、リモートモードにします。

- 2 プロットダイアログで **トンボ認識** ボタンをクリックすると、トンボを認識します。



トンボ認識を中止する時は、**トンボ認識解除** ボタンをクリックします。

- 3  プロットボタンをクリックすると、「プロッタ出力」ダイアログを表示します。



- 4 **プロット** ボタンをクリックします。

4-2. トンボを認識し、連続カットする(CG-FXシリーズ, CG-75ML)

この機能は、CG-FXシリーズとCG-75MLカッティングプロッタで対応しています。複数の同一画像をカットする場合、トンボを高速で検出できます。ロールシートに複数ある同一データを連続カットする方法と、ハザイシートを交換して同一データを連続カットする方法があります。

<ロールシートの連続カット>

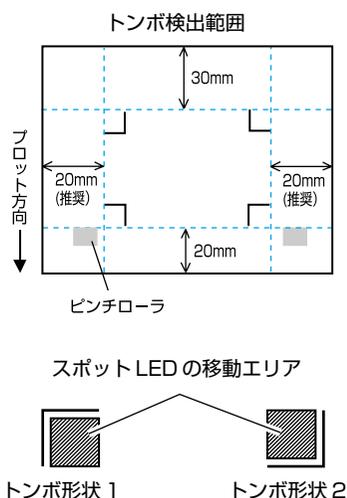
重要!

- ・ Illustrator 上のトンボデータは、1 セットのみにしてください。同一データの印刷は、Illustratorに同一のデータを並べるのではなく、ご使用の印刷ソフトウェア(RIP)のコピー機能を使用してください。
- ・ 出力結果は、XY 方向（縦横）をそろえて作成してください。

1 出力結果をプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

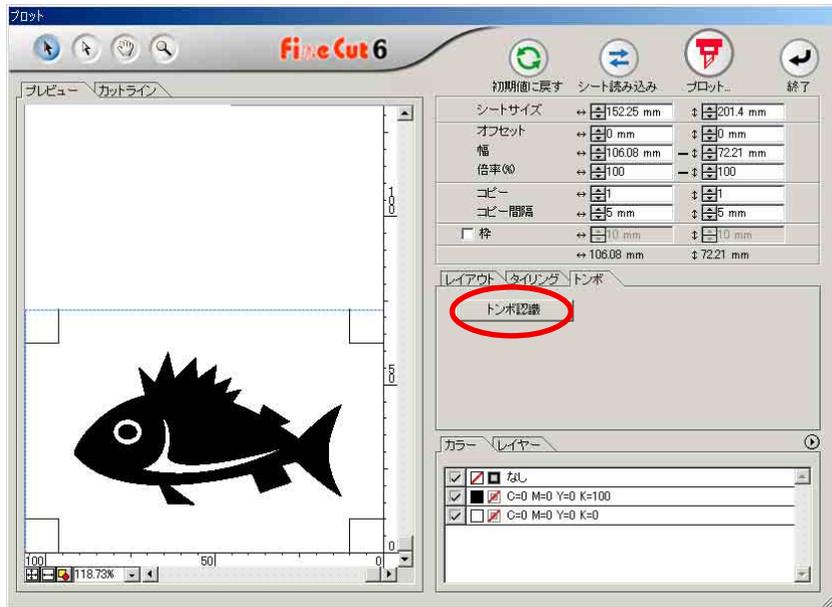
トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書を参照ください。

トンボ検出方法（セミオート方法）



1. プロッタで、「トンボケンシュツ」機能を有効にします。
サイズ、形状など検出するトンボの設定を行います。
「トンボ検出個数」は「1テン」を選択します。
2. プリンタで出力したシートをプロッタに取り付け、シートセットレバーを奥側に倒します。
3. ジョグキーを押し、シート検出を行います。
4. ジョグキーでスポットLEDを左図のエリア内に移動します。
5. **ENTER HOLD** キーを押します。
6. トンボを検出し、ローカルモードになります。
7. **REMOTE** キーを押し、リモートモードにします。

2 プロットダイアログの **トンボ認識** ボタンをクリックします。



3 連続して認識するトンボについて設定します。



「ロールシート」(左側のアイコン)を選択。

シートの各方向へのデータ連続回数を設定。
回数が不明な場合は、「9999」(最大値)を入力。

データの1回目のトンボ検出箇所を選択。

データの2回目からのトンボ検出箇所を選択。



大きいデータの場合、トンボ検出箇所を多くすると、より精密にカットできます。
小さいデータの場合、2回目以降のトンボ検出力所を少なくすると、トンボ検出時間を短縮できます。

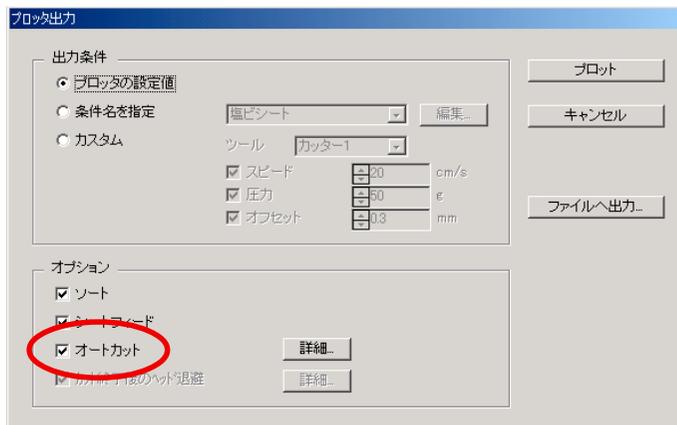
トンボ認識を中止する時は、**トンボ認識解除** ボタンをクリックします。

4



プロットボタンをクリックします。

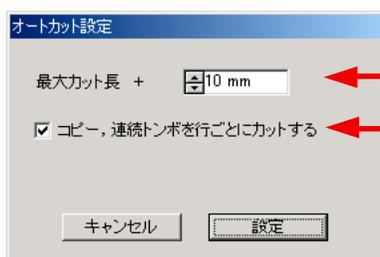
プロッタ出力ダイアログを表示します。(⇒ 109 ページ)



「オートカット」にチェックを入れると、カット終了ごとに自動的にシートカットします。

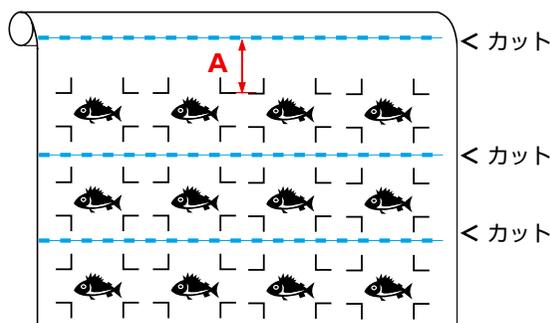
オートカットを行う場合は、必ずチェックを入れてください。プロッタ側で「オートカット」設定をオンにしても、ここにチェックがないと、カットを行いません。また、プロッタ側で「オートカット」設定をオフにしている場合、ここにチェックを入れた場合はオートカットを行います。

詳細 をクリックし、設定を行います。



最後の行からカットする位置までの長さを設定。(下図 A)

データを行ごとにカットするか選択。



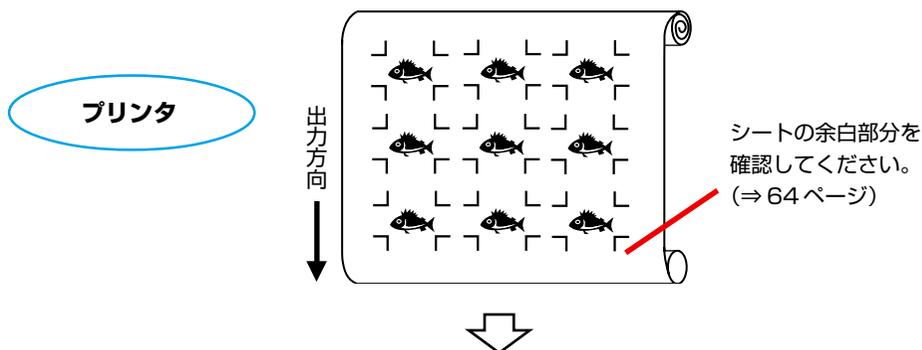
設定 をクリックします。

5

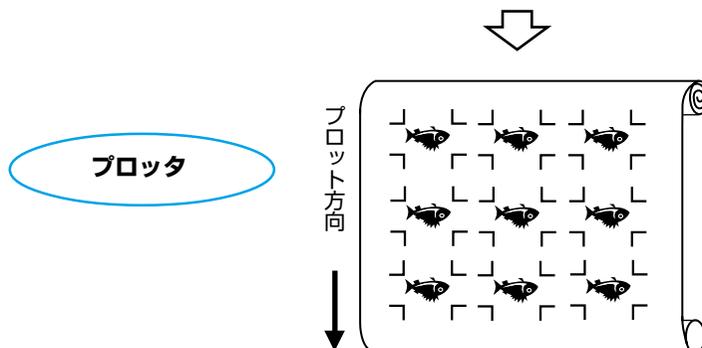
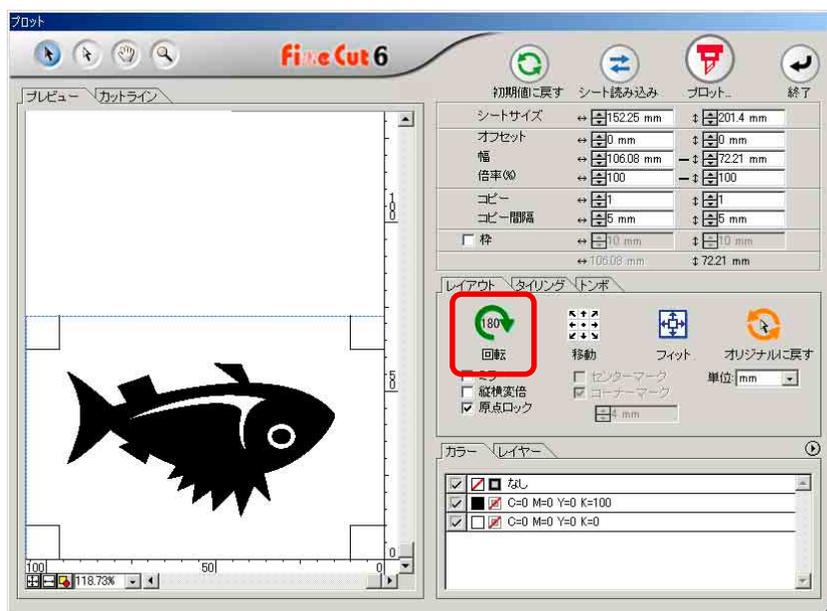
「プロッタ出力」ダイアログの **プロット** をクリックし、プロットを開始します。

● 巻き取り機能付きプリンタ（Mimaki JV シリーズなど）でプリントしたものを、紙管に巻いてある場合

FineCutで180°回転すると、そのままプロッタにセットして連続カットできます。（ロールを巻き戻す必要はありません。）

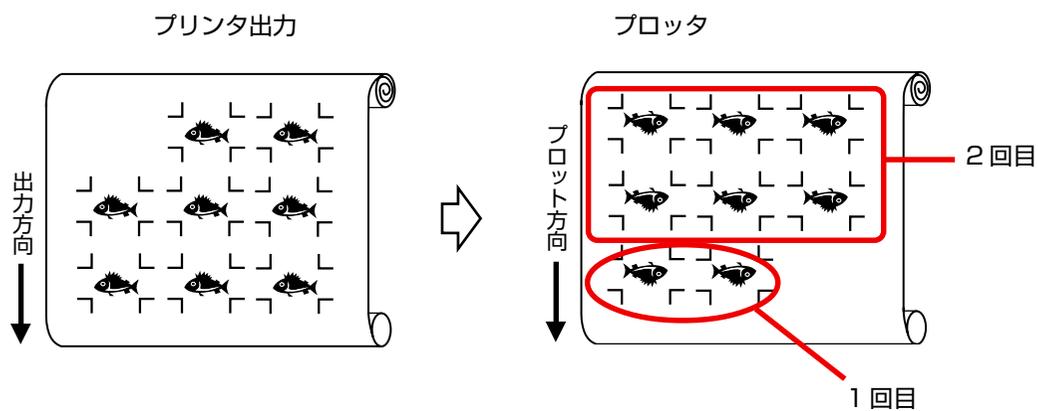


FineCutでトンボ認識を行う前に、 回転ボタンを「180°」に設定します。



● **プリントした連続データが、行の途中までの場合**

データを2回に分けてカットすると、全てのデータがカットできます。

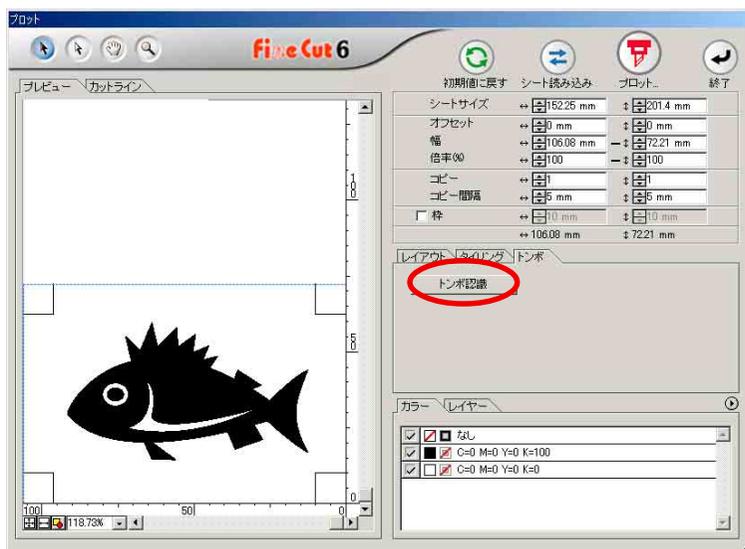


<ハザイシートの連続カット>

重要!

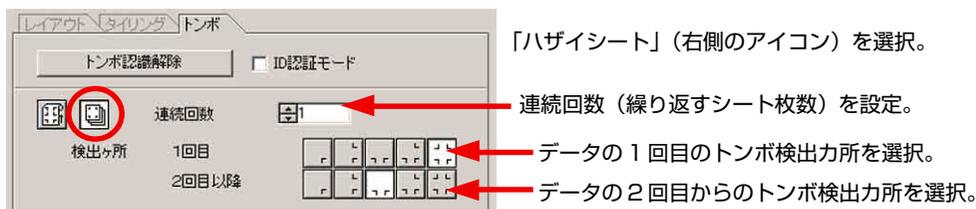
- ・ トンボデータは、1セットのみとしてください。シート内にトンボが数セットある場合は、連続してカットができません。
- ・ 出力結果のハザイシートサイズ、印刷位置は同じにしてください。

- 1 出力結果をプロッタにセットし、トンボ検出を行います。
(⇒ 64 ページ)
トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書を参照ください。
- 2 プロットダイアログの **トンボ認識** ボタンをクリックします。



- 3 連続して認識するトンボについて設定します。

トンボ認識を中止する時は、**トンボ認識解除** ボタンをクリックします。

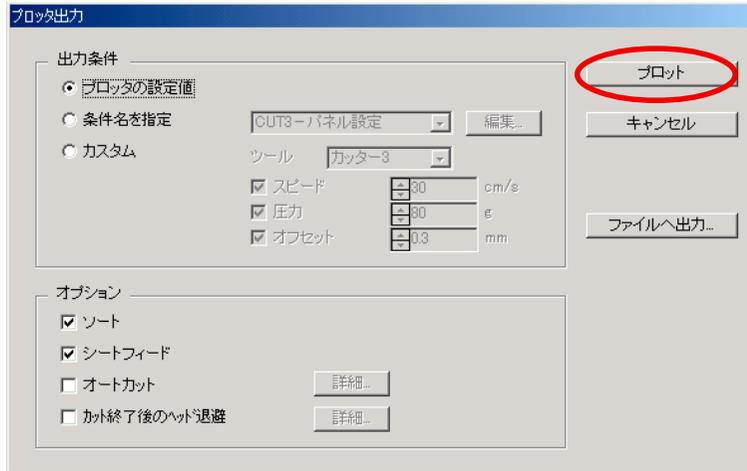


4



プロットボタンをクリックします。

「プロッタ出力」ダイアログを表示します。(⇒ 109 ページ)

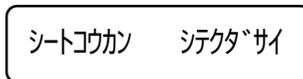


5

プロット をクリックし、プロットを開始します。

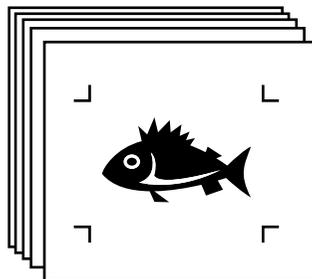
6

1 枚目をカットしたら、プロッタのパネルに以下のメッセージが表示されます。



7

次のシートをセットすると、自動的にトンボを検出し、カットを行います。



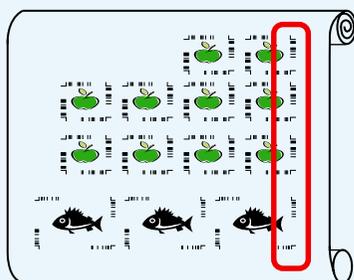
4-3. ID 認証モードで、連続カットする(CG-75ML)

この機能は、CG-75ML カuttingプロッタで対応しています。

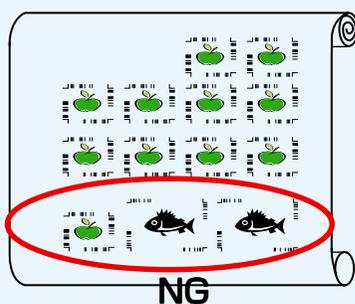
複数の異なる図柄をカットする場合に、ID 情報付きトンボを使い、正確な位置を判断しながら自動でカットします。

重要!

- ・ トンボ形状、トンボサイズ、線幅は全ての図柄で統一してください。(⇒ 55 ページ) 混合していると、正確にトンボを検出できません。
- ・ Illustrator 上のトンボデータは、1 セットのみにしてください。
同一データの印刷は、Illustrator に同一のデータを並べるのではなく、ご使用の印刷ソフトウェア(RIP)のコピー機能を使用してください。
- ・ ID 情報付きトンボを使用する場合、プロッタの「トンボ検出回数」は、かならず「1 テン」に設定してください。
- ・ プロッタ側の原点(「ゲンテン」)を「ミギシタ」に設定してください。
- ・ 印刷時に右端(原点側)のトンボが揃うようにレイアウトしてください。



- ・ Y 方向(横)に異なる図柄を並べることはできません。

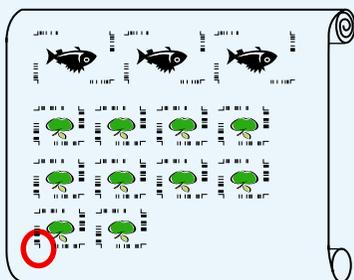


1 出力結果をプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

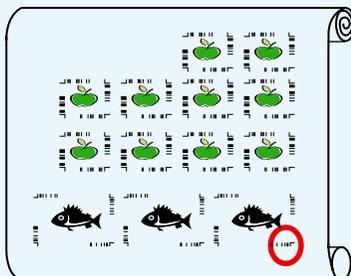
トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書を参照ください。

重要!

・メディアを印刷結果と反対方向にセットした場合は、左下のトンボを検出してください。

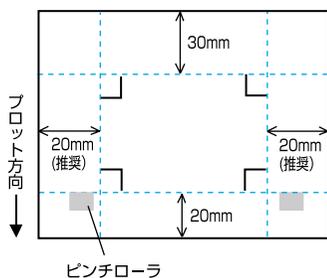


反対方向にセット

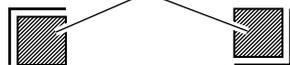


同じ方向にセット

トンボ検出方法 (セミオート方法)



スポットLEDの移動エリア

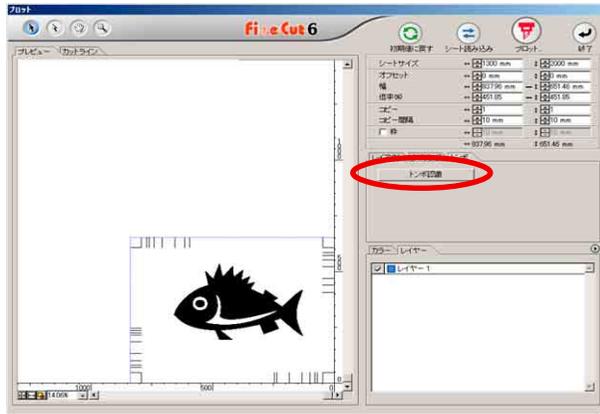


トンボ形状1

トンボ形状2

1. プロッタで、「トンボケンシュツ」機能を有効にします。
サイズ、形状など検出するトンボの設定を行います。
「トンボ検出個数」は「1テン」を選択します。
2. プリンタで出力したシートをプロッタに取り付け、シートセットレバーを奥側に倒します。
3. ジョグキーを押し、シート検出を行います。
4. ジョグキーでスポットLEDを左図のエリア内に移動します。
5. **ENTER HOLD** キーを押します。
6. トンボを検出し、ローカルモードになります。
7. **REMOTE** キーを押し、リモートモードにします。

- 2 プロットダイアログの **トンボ認識** ボタンをクリックします。

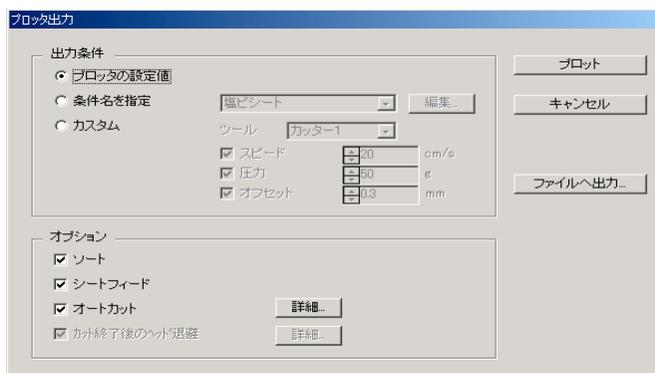


ID 認証モードでカットする場合は、回転方向は自動で認識されます。

- 3 ID 認証モードにチェックが入っていることを確認してください。



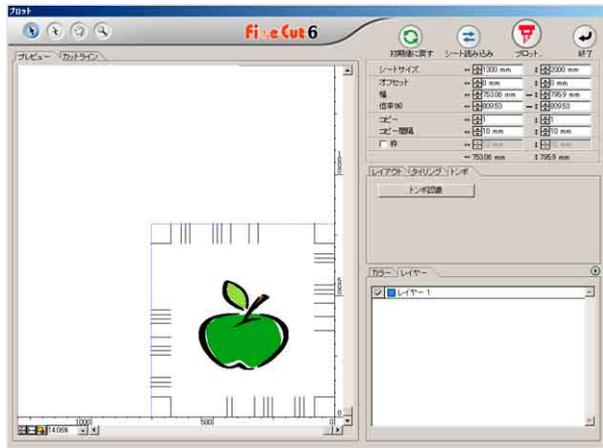
- 4  プロットボタンをクリックします。
プロッタ出力ダイアログを表示します。(⇒ 109 ページ)



- 5 「プロッタ出力」ダイアログの **プロット** をクリックし、データを送信します。

プロッタはローカルモードになります。

- 6 一度にカットしたい他の図柄も同様に、手順2～5をくりかえします。



データを送信する順番は、印刷の順番と違っていても問題ありません。

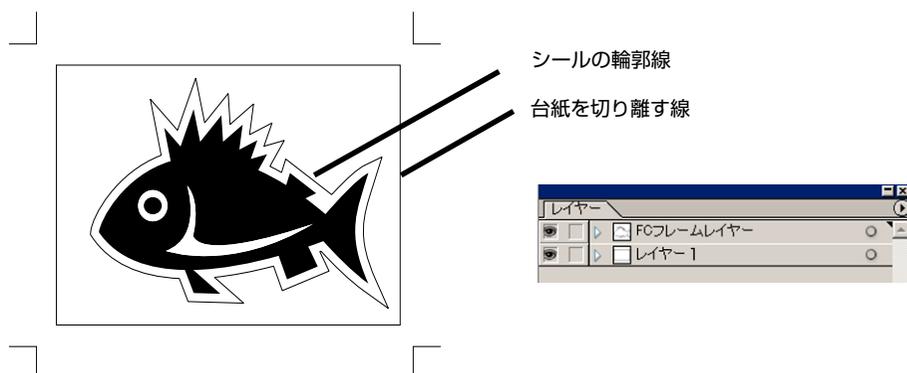
- 7 プロッタの **REMOTE** ボタンを押します。
プロットを開始します。

4-4. シールの輪郭と台紙のカットを同時にする(CG-75ML)

CG-75MLプロッタでは、シールの輪郭カットと、台紙を切り離し易くするためのカット（点線カット）が同時にできます。

1 Illustratorで、レイヤーを分けてデータを作成します。

例) FCフレームレイヤー ⇒ シールの輪郭線
レイヤー1 ⇒ 台紙を切り離す線



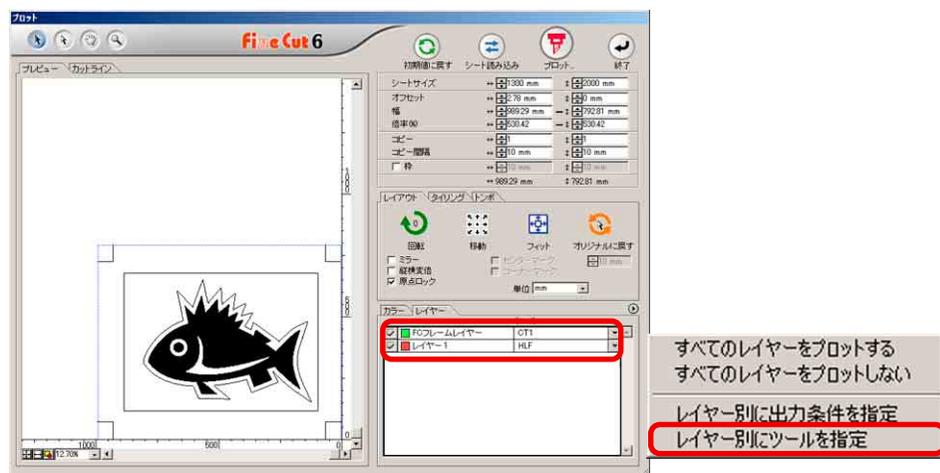
2 各レイヤーのカット条件を設定します。

＜カラー別/レイヤー別に出力条件を設定する＞
(49～51 ページ) の手順を参照してください。

「レイヤー別にツールを指定」を選択

FCフレームレイヤー ⇒ 「CT1」に設定

レイヤー1 ⇒ 「HLF」に設定

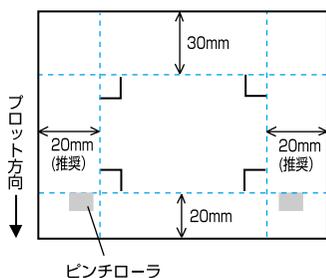


3 プロッタ側でカッターの刃出し量とツール別のカット圧を調整します。

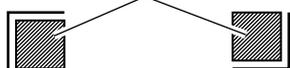
- カッターの刃出し量の調整方法は、プロッタの取扱説明書「刃先の調整」を参照
- ツール別のカット圧
「CT1」⇒台紙にカッター刃先の跡が付く程度の圧力
「HLF」⇒台紙を切り抜ける圧力

4 トンボを検出し、カットします。

トンボ検出方法（セミオート方法）



スポットLEDの移動エリア

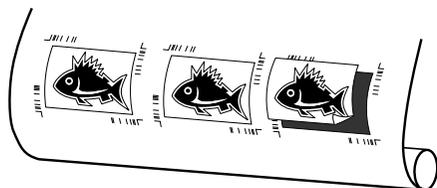


トンボ形状 1

トンボ形状 2

1. プロッタで、「トンボケンシュツ」機能を有効にします。
サイズ、形状など検出するトンボの設定を行います。
「トンボ検出個数」は「1テン」を選択します。
2. プリンタで出力したシートをプロッタに取り付け、シートセットレバーを奥側に倒します。
3. ジョグキーを押し、シート検出を行います。
4. ジョグキーでスポットLEDを左図のエリア内に移動します。
5. キーを押します。
6. トンボを検出し、ローカルモードになります。
7. キーを押し、リモートモードにします。

5 カットが終了したら、台紙を切り離します。

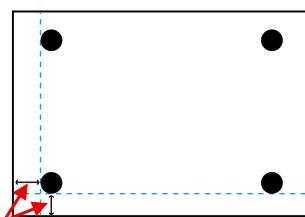


4-5. CF2/DC シリーズでカットする

1 出力結果をプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

トンボ検出方法の詳細は、CF2/DC シリーズの取扱説明書をご参照ください。

トンボ検出方法（セミオート方法）



トンボのサイズ位の余白をあける

スポットLEDの移動エリア
スポットLED



丸トンボ

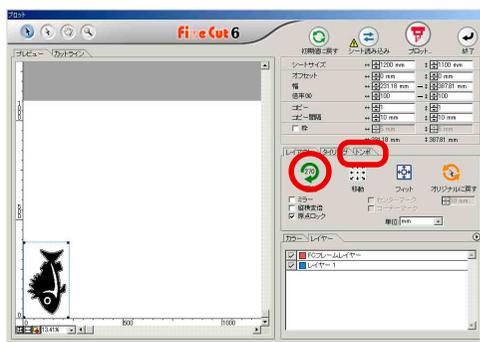
1. プロッタで、「トンボケンシュツ」の設定を「1テン」にします。
トンボサイズの設定を行います。
(59ページ手順3で設定したトンボサイズに合わせる。)
2. プリンタで出力したメディアをプロッタに取り付けます。
3. **END** キーを押し、トンボ検出を行います。
4. ジョグキーでスポットLEDを左図のエリア内に移動します。
5. **END** キーを押します。
6. トンボを検出し、ローカルモードになります。
7. **REMOTE LOCAL** キーを押し、リモートモードにします。

2 手順1でセットしたデータをIllustratorで表示させ、「FineCutメニュー」の[プロット]ボタンをクリックします。

または、Illustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[プロット]を選択します。

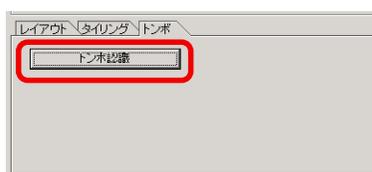


3 回転ボタンをクリックして、プロッタにセットした出力結果の向きと、FineCutのダイアログ表示の向きを合わせます。



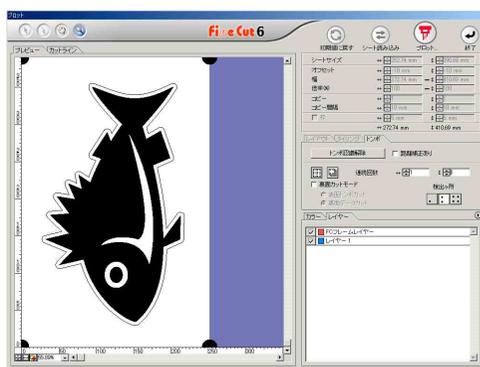
4 トンボタグをクリックします。

5 **トンボ認識** ボタンをクリックすると、トンボを認識します。



6 カットの種類を選びます。

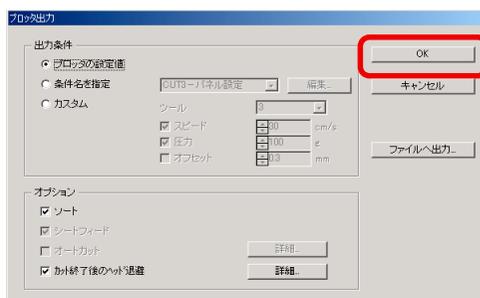
- ・トンボを認識してカットする (⇒79 ページ)
- ・「マルチモード」で連続カットする (⇒79 ページ)
- ・「シングルモード」で連続カットする (⇒79 ページ)
- ・距離補正をする (⇒80 ページ)
- ・トンボ分割カットをする (⇒80 ページ)
- ・裏面カットをする (⇒82 ページ)



7 「FC フレームレイヤー」のチェックだけ残し、

 プロットボタンをクリックします。

8 **OK** をクリックし、プロットを開始します。



《カットの種類》

● トンボを認識してカットする

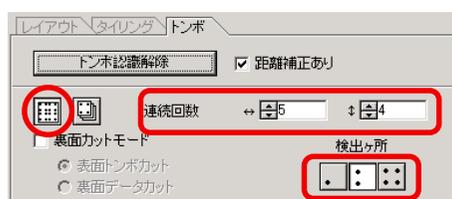
- 1 連続回数が「1」になっていることを確認する。
- 2 78 ページ手順 7 へ進む。



● 「マルチモード」で連続カットする

1 枚のメディアに連続して印刷されているデータをカットします。

- 1 「マルチモード」を選択する。
- 2 メディアの各方向へのデータ連続回数を設定する。
- 3 トンボの検出ヶ所 (1点, 2点, 4点) を選ぶ。
- 4 78 ページ手順 7 へ進む。



重要!

- ・ Illustrator 上のトンボデータは、1 セットのみにしてください。同一データの印刷は、Illustrator に同一のデータを並べるのではなく、ご使用の印刷ソフトウェア (RIP) のコピー機能を使用してください。
- ・ 出力結果は、XY 方向 (縦横) をそろえて作成してください。

● 「シングルモード」で連続カットする

トンボデータが 1 セットのみ配置されているメディアを、連続してカットします。

- 1 「シングルモード」を選択する。
- 2 連続回数 (繰り返すシート枚数) を設定する。
- 3 トンボの検出ヶ所 (1点, 2点, 4点) を選ぶ。
- 4 78 ページ手順 7 へ進み、1 枚目のメディアをプロットする。
- 5 プロットが終わったら、プロッタに次にプロットするシートをセットする。
- 6 プロッタの (VACUUM) キーを押して、「サイカイ」を選ぶ。
 - ・ CE キーを押すと、連続カットを中止します。
- 7 77 ページを参照して、トンボを検出する。
- 8 シートの枚数分 5 ~ 7 を繰り返す。



重要!

- ・ トンボデータは、1 セットのみとしてください。メディア内にトンボが数セットある場合は、連続してカットができません。

● 距離補正をする

メディアの種類や印刷環境などの影響で、実際のデータと出力結果のサイズが違っていても、出力結果に合わせてフレームをカットできます。

距離補正をしたいときにチェック



重要!

- ・ 紙器など、形状が決まっているものをカットする場合は、距離補正をするとサイズが合わなくなることがあります。このような場合は、距離補正を行わないでください。

● トンボ分割カットをする

1度ではカットできない大きなデータも複数回に分割してカットできます。

重要!

- ・ トンボを作るとき必ずトンボ分割を選んでください(⇒60ページ)。トンボ分割が設定されていないデータは分割カットできません。

- 1 トンボ分割したデータをIllustratorで表示させ、「FineCutメニュー」の「プロット」ボタンをクリックする。
- 2 トンボタグをクリックし、「トンボ認識」をクリックする。
- 3 カットエリアNo.が「1」になっていることを確認する。



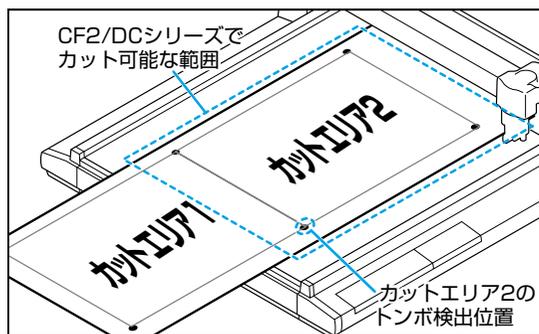
- 4 トンボの検出ヶ所(1点,2点,4点)を選ぶ。
- 5 78ページ手順7へ進みプロットする。
- 6 プロットが終わったら、メディアを移動させる。(⇒81ページ)
- 7 77ページを参照して、カットエリア「2」のトンボを検出する。
- 8 FineCutのカットエリアを「2」に変更する。



- 9 トンボの検出ヶ所(1点,2点,4点)を選ぶ。
- 10 78ページ手順7へ進みプロットする。
- 11 分割している分だけ6～10を繰り返す。

〈メディアを移動させるときは〉

メディアを移動させるときは、カットするエリアのトンボがプロッタのカット可能な範囲にすべて入るように移動させてください。



重要!

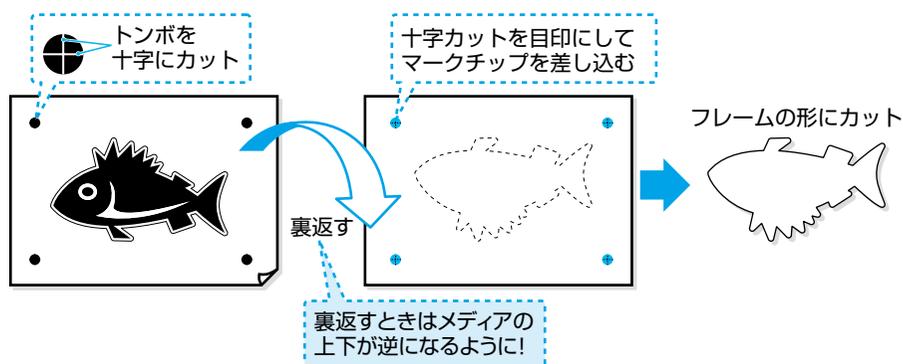
- ・ トンボ分割カットを実行すると、プロッタに「***オフスケール***」と表示されますが、動作等に問題はありません。

●裏面カットをする

プリント面（表面）からではなく、裏面からカットできます。
段ボールなど表面からカットすると仕上がりがキレイにならないメディア
の場合にお使いください。

重要!

- ・裏面カットでは、お使いになるマークチップに合わせてトンボのサイズを設定してください。トンボが小さすぎると、マークチップを差し込めなくなることがあります。



- 1 プリント面を表にしてメディアをプロッタにセットし、トンボ検出をする。
- 2 カットするデータをIllustratorで表示させ、「FineCutメニュー」の【プロット】ボタンをクリックする。
- 3 トンボタグをクリックし、**トンボ認識**をクリックする。
- 4 「裏面カットモード」にチェックを入れる。
- 5 「表面トンボカット」を選択する。
- 6 トンボの検出ヶ所（2点または4点）を選ぶ。
- 7 78ページ手順7へ進みプロットする。
→検出したトンボが十字にカットされます。



重要!

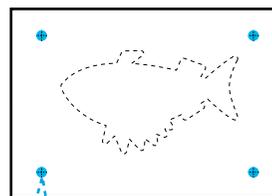
- ・「表面トンボカット」をする前に、トンボの部分にマークチップがないかご確認ください。マークチップがあるときにトンボカットをすると、カッターによりマークチップがはじかれ大変危険です。
- ・「表面トンボカット」をするときは、トンボの検出ヶ所  (1点) は選択できません。

8 メディアを、上下が逆になるようにして裏返し、プロッタにセットする。

9 十字カットを目印にして、マークチップを差し込む。

→マークチップがトンボの代わりになります。

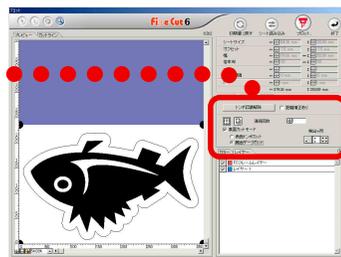
10 プロッタでトンボ検出をする。



マークチップを差し込む

11 「裏面データカット」を選択する。

→読み込んだデータが上下逆に表示されます。



12 トンボの検出ヶ所（1点,2点,4点）を選ぶ。

13 78 ページ手順 7へ進みプロットする。

重要!

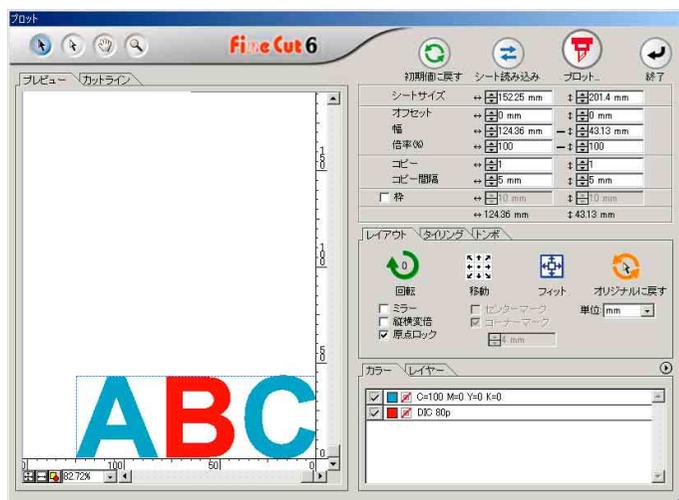
・ カットするメディアの厚みは、**3mm 以上**にしてください。

シートを有効に使う

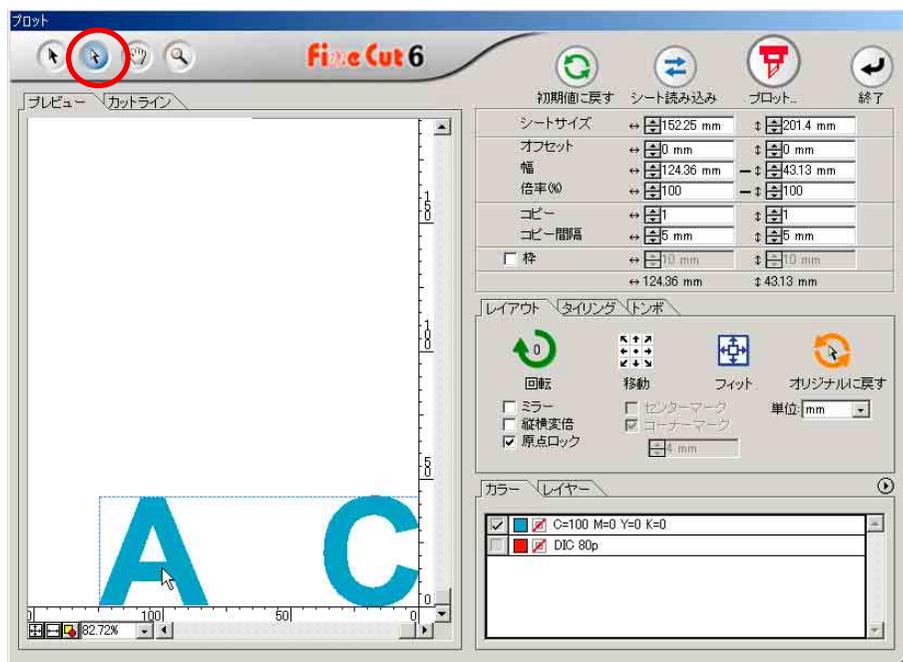
オブジェクトを移動して、シートの無駄をなくしましょう。

例えば色の違うABCをカラー別にカットする場合、AとCをカットすると、色の異なるBの部分が空白になってしまいます。

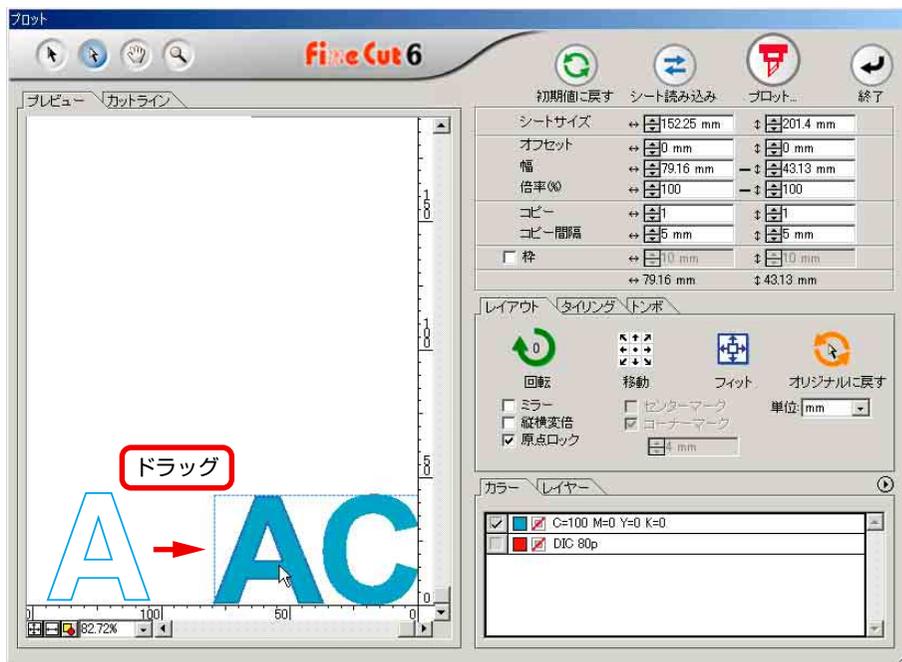
空白の箇所にオブジェクトを移動してカットしてみましょう。



1  ダイレクト選択ツールで、移動するオブジェクトを選択します。



2 オブジェクトを選択したまま、移動する位置にドラッグします。



移動したオブジェクトを元に戻す場合は、 オリジナルに戻すボタンをクリックします。

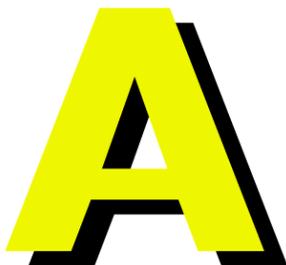
トラッピング処理を行う

オブジェクトが重なっているレイアウトは、色の境界部分に隙間ができてしまう場合があります。トラッピング処理を行っておくと、隙間ができるのを防ぎます。

重要!

複雑な図形をトラッピングした場合、エラーまたはIllustratorが不正終了し、データを失う場合があります。データを保存してから行ってください。

1 認識するオブジェクトを選択します。



2 「FineCut メニュー」の[トラッピング]ボタンをクリックします。
またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から[トラッピング]を選択します。



3

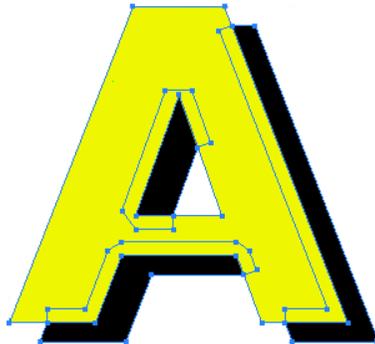
トラップサイズと重ね順の設定を行います。



リストをドラッグして、重ね合わせの順序を変更できます。
設定後、**OK** をクリックします。

4

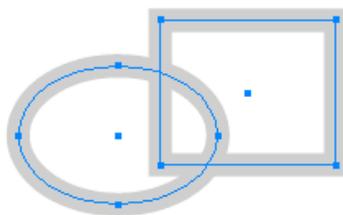
指定したサイズで重ねしろが作成されます。



線幅・重なりを認識させる

オブジェクトの線幅や重なりを認識させて、モニター上で見たままの図形にカットしてみましょう。

- 1 認識するオブジェクトを選択します。

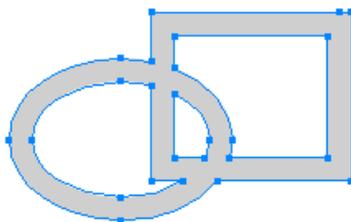


- 2 「FineCutメニュー」の[線幅・重なりを認識]ボタンをクリックします。

またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[線幅・重なりを認識]を選択します。



- 3 線幅と重なりが認識されます。



カラーライブラリを使ってシート色を指定する

FineCut CD-ROM内の「カラーライブラリ」フォルダには、各シート（フィルム）メーカー様からご提供頂いたスウォッチライブラリ、およびカラーチャート・プラグインが含まれています。カラーライブラリをインストールすると、シート（フィルム）の色見本をIllustrator上に表示し、データの塗りつぶしや線の色として指定できます。

ご提供メーカー（順不同）

会社名	カラーライブラリ・タイプ
株式会社中川ケミカル	カラーチャート・プラグイン
住友スリーエム株式会社	スウォッチライブラリ
積水化学工業株式会社	スウォッチライブラリ
桜井株式会社	スウォッチライブラリ
ニチエ株式会社	スウォッチライブラリ

動作環境

Windows	カラーチャート・プラグイン	Adobe Illustrator 7.0J ~ 10J,
	スウォッチライブラリ	Adobe Illustrator 7.0J ~ 10J, CS, CS2
Macintosh	カラーチャート・プラグイン	Adobe Illustrator 7.0J ~ 9.02J
	スウォッチライブラリ	Adobe Illustrator 7.0J ~ 10J, CS, CS2

重要!

カラーライブラリを使用して発生したいかなる障害に関しても、株式会社ミマキエンジニアリングおよびカラーライブラリ提供メーカーは責任を負いません。あらかじめご了承の上、ご使用ください。

本製品中の製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

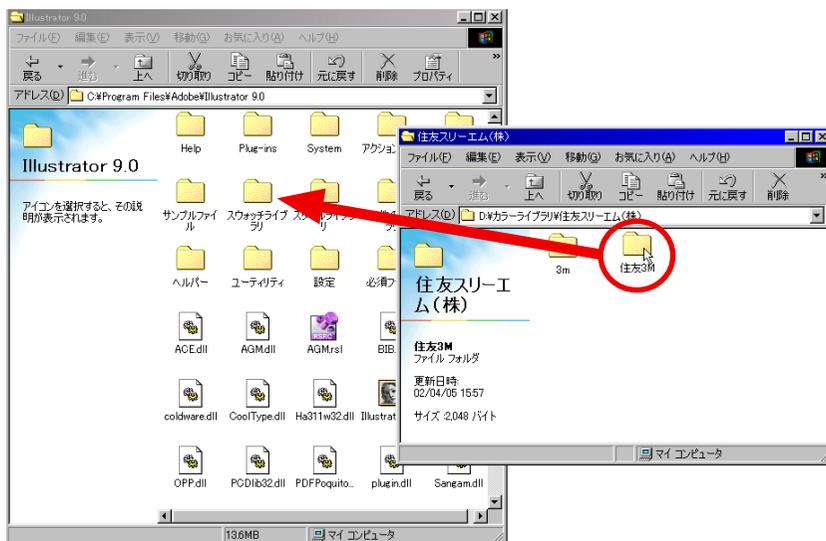
1. インストールする

スウォッチライブラリをインストールしてみましょう。
(カラーチャート・プラグインは、インストーラの指示に従ってインストールしてください。)

- 1 FineCutのCD-ROM内にある「カラーライブラリ」フォルダを開きます。

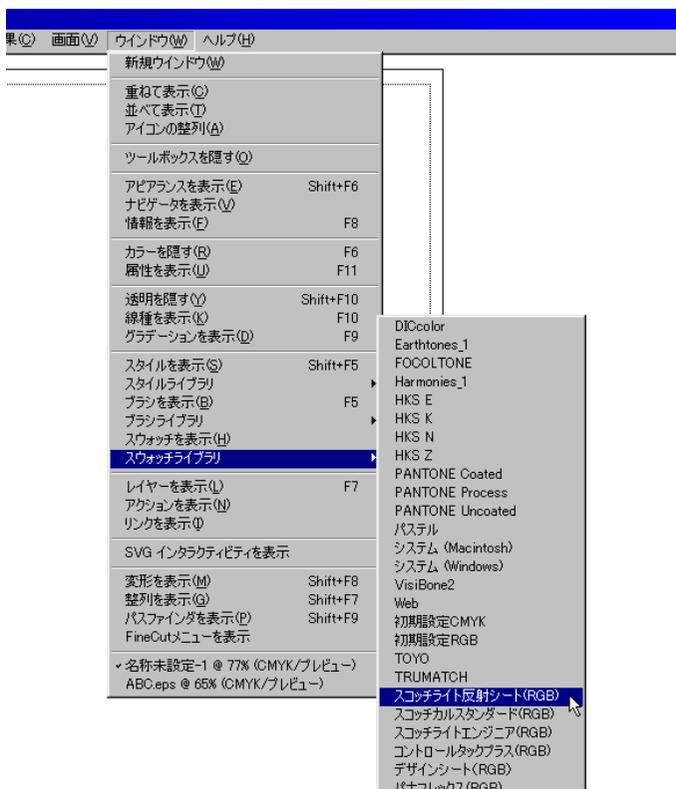


- 2 インストールするスウォッチライブラリ・ファイルをIllustratorの「スウォッチライブラリ」にドラッグ&ドロップします。
Illustrator CS, CS2の場合は、「プリセット」の中の「スウォッチ」にドラッグ&ドロップします。



2. カラーライブラリを使用する

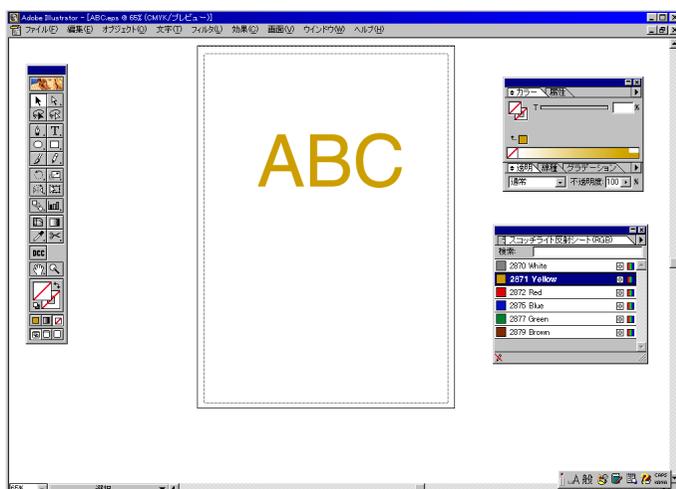
- 1 Illustrator を起動します。
- 2 Illustrator の[ウィンドウ]メニューの[スウォッチライブラリ]から、使用するライブラリを選択します。



- 3 カットシート（フィルム）の色見本が、カラーパレットとして表示されます。



- 4 カットするデータに、カラーパレット内の色（シート名）を指定します。



- 5 「FineCut メニュー」の[プロット]ボタンをクリックします。
またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[プロット]を選択します。

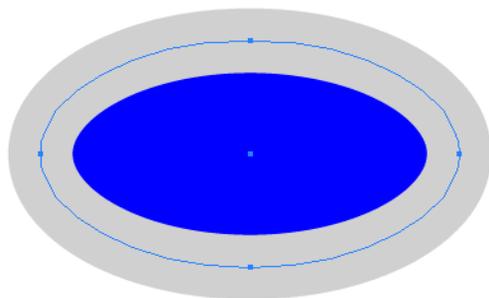


指定したシートを表示します。

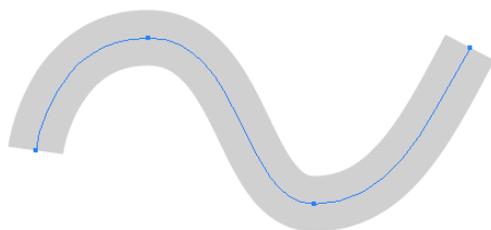
- 6 指定したシートをプロッタにセットし、カットします。
(例では「スコッチライト反射シート 2871 Yellow」をセットします。)

オブジェクトの塗りと線について

下の図は、楕円の塗りを設定して、線を太らせたオブジェクトです。
線の輪郭をカットせず、塗りの輪郭（線の中心）をカットします。



塗りが無いオブジェクトは、線のパスをカットします。
線は、太い線・細い線に関係なく、パスがカット対象になります。パスは、オブジェクトを選択した場合や、Illustratorのアートワークモードで確認できます。



パスとは ...

Illustratorの描画ツールを使って作成する線です。グラフィックオブジェクトのアウトラインもパスで構成しています。Illustratorで作成した直線や長方形のアウトラインは、いずれもパスの典型的な例です。



線の幅を認識させてカットしたり、線と塗りを分けてカットする場合は、「線幅、重なりを認識させる」(⇒88ページ)をご覧ください。

FineCut メニューについて

FineCut のメニューについて説明します。
以下の方法のいずれかでメニューを選択します。

- 1 Illustratorのウィンドウメニューから「FineCutメニューを表示」を選択します。
以下の「FineCutメニュー」を表示します。



- 2 Illustratorのファイルメニューから「FineCut」を選択します。



-  [プロット...]: オブジェクトをプロットします。カットエリアを表示し、オブジェクトのレイアウトや各種オプションを設定します。また、オブジェクトをカットするために、プロッタへオブジェクトを送信します。(⇒101 ページ)
-  [選択バスをプロット...]: 選択したオブジェクトのみをプロットします。
-  [プロッタ/ユーザ設定...]: お使いになるプロッタと接続するための通信条件等を設定します。(⇒96 ページ)
-  [線幅・重なりを認識]: 選択したオブジェクトの線幅や重なりを認識します。(⇒88 ページ)
-  [トラッピング]: 選択したオブジェクトをトラッピング処理します。(⇒86 ページ)
-  [フレーム抽出...]: 選択したオブジェクトにフレームを作成します。(⇒55 ページ)
-  [トンボ作成...]: プロッタが認識できるトンボを作成します。(CG シリーズ⇒57, CF2/DC シリーズ⇒59 ページ)
-  [カス取り線作成...]: シールを剥がしやすいう、オブジェクトの周りに切れ目(カス取り線)を入れます。(⇒39 ページ)
-  [カス取り線削除]: 作成したカス取り線を削除します。(⇒41 ページ)
-  [影/ふち取り作成...]: オブジェクトに影/ふち取りを作成します。(⇒30 ページ)
-  [影/ふち取り削除]: 作成した影/ふち取りを削除します。(⇒32 ページ)
- [プロットファイルを出力...]: 保存したプロットコマンドファイルをプロッタに出力します。(⇒111 ページ)
-  [輪郭抽出...]: ビットマップイメージをカットするためのアウトラインを作成します。(⇒33 ページ)

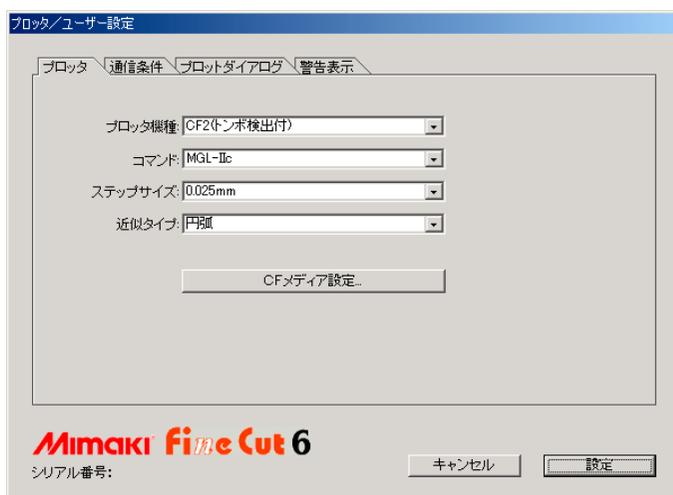
プロッタ/ユーザ設定について

FineCut とプロッタが通信できるように、通信条件等を設定します。

重要!

入力した値がプロッタ側の設定値と異なると、正常にオブジェクトの出力が行えません。必ず、プロッタの設定値と同じ値を設定してください。

「FineCut メニュー」の  [プロッタ/ユーザ設定...] ボタンをクリックします。または Illustrator の [ファイル] メニューの [FineCut] から、[プロッタ/ユーザ設定...] を選択します。



① プロッタ

接続しているプロッタについて設定します。

詳しくは、接続しているプロッタの取扱説明書をご覧ください。

- プロッタ機種種： 接続しているプロッタの機種種を選択します。
- コマンド： プロッタで設定しているコマンドを選択します。
- ステップサイズ： プロッタで設定しているステップサイズを選択します。
- 近似タイプ： オブジェクトのベジェ曲線をカットするときの近似方法を選択します。
(CF/CF2/DC では「円弧」を選択してください。)

重要!

近似タイプを「円弧」にした場合は、再度、カット条件の調整を行ってください。お使いのメディアによってはカッターに負荷がかかり、破損の原因となることがあります。

****メディア設定...**

クリックすると、「出力条件設定」ダイアログを開きます。
(⇒97 ページ) メディア、ツールの設定が可能です。



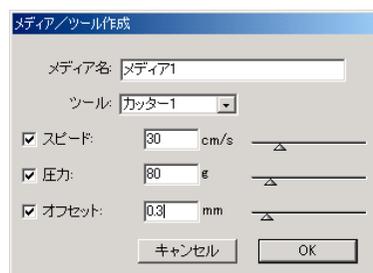
出力条件設定

「プロッタ」設定画面 (⇒96ページ) で ****メディア設定** ボタンをクリックすると表示します。

出力条件： 登録済みの出力条件 (スピード/圧力/オフセット) を表示します。

変更する場合は、変更する条件を選択して、**編集** をクリック、またはダブルクリックします。(⇒45ページ)

追加する場合は、**追加** をクリックします。(⇒45ページ)



デフォルト設定： カラー別、レイヤー別に出力条件を設定した場合に (⇒49ページ)、枠やマークなどの設定できない部分の出力条件を設定します。



② 通信条件

インターフェイスの通信条件を選択します。

- 通信ポート： プロッタを接続しているポートを選択します。
 ★「Mimaki CG-FXシリーズ」または「Mimaki CG-75ML」
 をご使用の際は、USB接続が可能です。(プロッタと接
 続し、プロッタの電源がONの場合)「USB」を選択し右
 側のポップアップメニューをクリックすると、「CG-FX-
 xx」が表示されます。
- 通信速度： データの転送速度を選択します。(シリアル選択時)
- データ長： データビット長を選択します。(シリアル選択時)
- パリティ： パリティチェックについて選択します。(シリアル選択時)
- ハンドシェイク： ハンドシェイク方式について選択します。(シリアル選択時)



③ プロットダイアログ

デフォルトシートサイズ：

FineCutでは、「ダイアログ表示時にシート読み込みを行う」にチェックが入っていれば、プロッタからシートサイズを自動的に読み込んでプレビュー表示します。

しかし、読み込みが正常に行われなかったり、「ダイアログ表示時にシート読み込みを行う」にチェックが入っていない場合は、ここで指定したサイズでプレビュー表示します。

初期表示タイプ：

プロットダイアログを表示する際の、表示方法を選択します。

ダイアログ表示時にシート読み込みを行う：

プロットダイアログを表示する際、シートサイズを自動的に読み込みます。

表示パスのみプロット対象：

ここにチェックをつけておくと、非表示パス部分はプロット対象になりません。



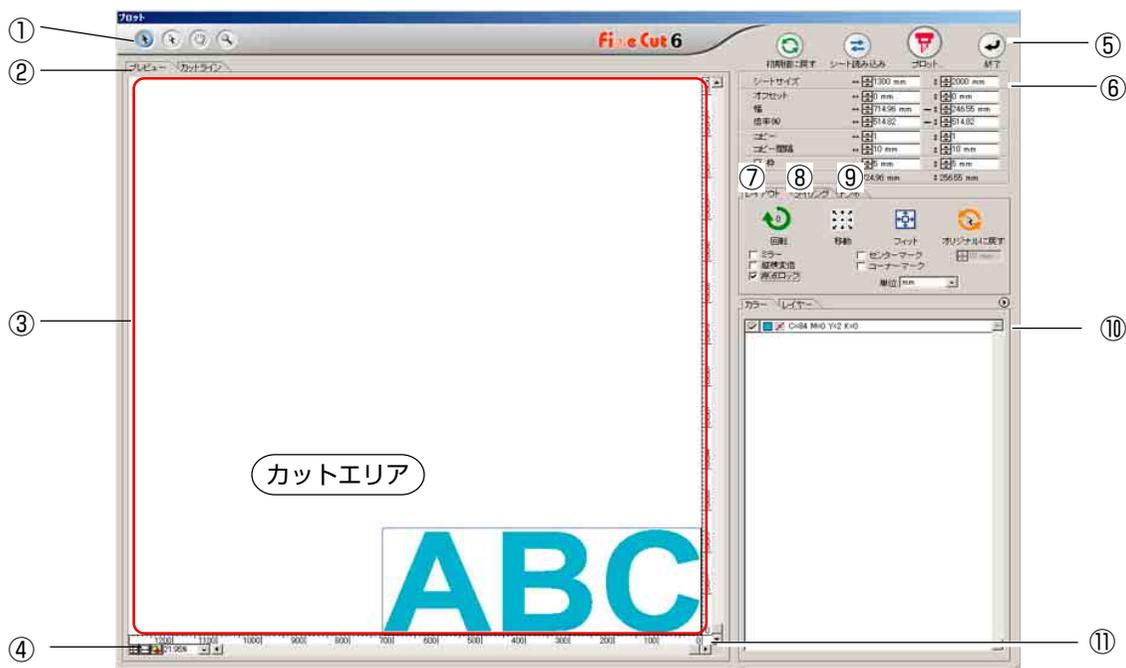
④ 警告表示

ここにチェックをつけておくと、以下の状態の際に警告を表示します。

- | | |
|---------------------|--|
| オープンパス： | パスが閉じていないオブジェクト。
(始点と終点が同じでない) |
| 線幅指定されているパス： | 線幅が指定されているパスがある。 |
| その他のカットできないパス： | グラデーションメッシュツールを使用して、オブジェクトを作成している。またはオブジェクトがラスター画像である。 |
| トンボ認識の警告： | トンボ認識実行時の2点補正を行っている。 |
| カラー/レイヤー別出力条件設定の警告： | カラー別またはレイヤー別で出力条件を設定している。 |

プロットダイアログについて

プロットダイアログについて説明します。



① ツールボックス



選択ツール：

表示しているオブジェクト全体の移動を行います。また、タイリング機能の分割線を移動します。



ダイレクト選択ツール：

オブジェクトの一部分を選択し、移動できます。シート上の空いている位置にオブジェクトを移動し、シートを無駄なく使うことができます。(⇒84 ページ)



表示領域変更ツール：

オブジェクト表示する領域を変更します。



ズームツール：

レイアウトエリアの表示を拡大、縮小します。カットエリアでクリックすると、拡大して表示します。

[Alt] キー (Windows 版), **[Option]** キー (Mac 版) を押してクリックすると、縮小して表示します。

②画面表示モード

表示方法を変えることができます。新規にプロットダイアログを開くと、プレビューモードで表示します。

プレビューモード : オブジェクトをカラー表示します。

カットラインモード : オブジェクトをパス表示 (アウトライン表示) します。白色のオブジェクトやカットラインのイメージを確認しやすくなります。

③レイアウトエリア

白い部分が、シートから読み込んだ有効カットエリアです。横軸にシート幅、縦軸にシートの長さを表示しています。

カットエリアからオブジェクトがはみ出ると、 プロット ボタンの左横に  マークを表示します。 マークをクリックすると、エラー内容を表示します。

④ズームサイズ表示

現在のズームサイズを表示します。



シート全体表示 : シート全体を表示します。



シート幅表示 : シート幅を表示します。



オブジェクト全体表示 : オブジェクト全体を画面全体に表示します。

%表示 : ズームサイズを%で選択、入力できます。(0.2 ~ 6400%)

⑤実行ボタン



初期値に戻る : 変更したオブジェクトのレイアウトを初期値に戻します。



シートサイズ読み込み : プロッタにセットしてあるシートサイズを読み込みます。ボタンの左横に  マークが表示されている場合は、プロッタのシート寸法が読みこめていません。プロッタをリモートモードにしてから、ボタンをクリックしてください。



プロット : 「プロッタ出力」ダイアログを表示します。(⇒109ページ) ボタンの左横に  マークが表示されている場合は、カットエリアからオブジェクトがはみ出ています。オブジェクトをカットエリア内に移動、またはサイズ変更してください。



終了 : プロットダイアログを閉じます。

⑥サイズ入力エリア

シートサイズ	↔ 200.05 mm	↓ 3000 mm
オフセット	↔ 0 mm	↓ 0 mm
幅	↔ 131 mm	↓ 45.42 mm
倍率(%)	↔ 100	↓ 100
コピー	↔ 1	↓ 1
コピー間隔	↔ 10 mm	↓ 10 mm
<input checked="" type="checkbox"/> 枠	↔ 5 mm	↓ 5 mm
	↔ 141 mm	↓ 55.42 mm

シートサイズ

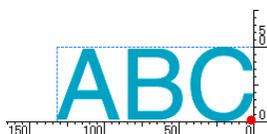
プロッタにセットしたシートの寸法を元に、カットエリアを表示します。

 シート読み込みボタンをクリックし、シートを読み込んだシートサイズを表示します。または、シート寸法（カットエリアの幅と長さ）を入力します。

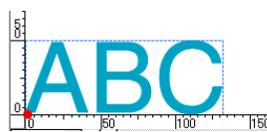
オフセット

レイアウトエリアの右下隅 (Mimaki CGシリーズ)、または左下隅 (Mimaki CF/CF2/DCシリーズ) が原点になります。FineCutを起動した直後の原点位置は、レイアウトエリアの横0mm,縦0mmの位置です。原点の値を変更して、オブジェクトを移動できます。

Mimaki CG シリーズ



Mimaki CF/CF2/DC シリーズ



幅

オブジェクトの横幅と縦幅を変更できます。

横幅と縦幅の値が連動している場合（横幅と縦幅の間に“—”マークがついている場合）、横幅と縦幅の比率が変わりません。横幅と縦幅を別々に変える場合は、オプションの「縦横変倍」のチェックボックスをクリックして、チェックを付けます。

倍率 (⇒ 20 ページ)

オブジェクトの横幅と縦幅の倍率を設定します。横幅と縦幅の値が連動している場合（横幅と縦幅の間に“—”マークがついている場合）、横幅と縦幅の比率が変わりません。横幅と縦幅を別々に変える場合は、オプションの「縦横変倍」のチェックボックスをクリックして、チェックを付けます。

コピー (⇒ 24 ページ)

1つのオブジェクトを横方向および縦方向にコピーする個数を入力します。

コピー間隔 (⇒ 24 ページ)

コピーしたオブジェクトの間隔を横方向および縦方向に設定します。

枠

カットするオブジェクトの周りに、枠 (⇒ 18 ページ) をカットします。また、オブジェクトから枠までの距離が設定できます。枠をカットすると、不要なシートのはぎ取りが容易になります。

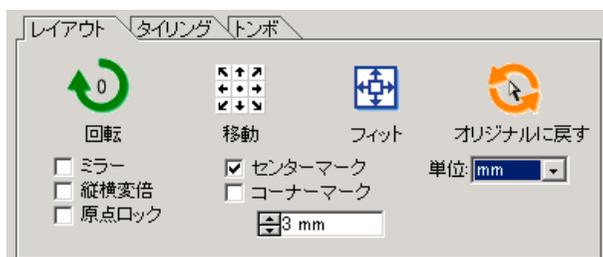
また、センターマーク、コーナーマーク (⇒ 22 ページ) をつけると、カットしたシートを貼る際の位置合わせが簡単にできます。

全体サイズ

通常は、オブジェクトの幅と高さを表示します。

コピーで個数を入力した場合は、横方向および縦方向のコピーした個数分の長さを表示します。コピー間隔や枠が設定してあれば、その値も含まれます。

⑦レイアウト・オプション



 **回転：** オブジェクトを時計回りに90° ずつ回転できます。矢印の中に角度 (0, 90, 180, 270) を表示します。

 **移動：** 矢印の位置をクリックして、シートの任意位置にオブジェクトを移動します。

 **フィット：** オブジェクトを検出したシートサイズにフィットさせます。

 **オリジナルに戻す：** ダイレクト選択ツールで変更したレイアウトを元に戻します。(⇒ 85 ページ)

ミラー

オブジェクトを鏡で写したように反転してカットします。



縦横変倍 (⇒ 20 ページ)

オブジェクトの横幅と縦幅の比率を変えて、大きさを変えることができます。

原点ロック (⇒ 43 ページ)

ロックすると、オブジェクトの位置関係が保持されます。

ロックを外すと、選択した特定の色(またはレイヤー)のオブジェクトをシートの無駄なくカットできます。

センターマーク (⇒ 22 ページ)

枠を設定した際、枠の縦横の真ん中にマークをつけます。

カットしたシールを貼る際、マークを基準にして、任意の位置にシールを貼れます。

コーナーマーク (⇒ 23 ページ)

枠を設定した際、枠の四隅にマークをつけます。

カットしたシールを貼る際、マークを基準にして、シールを水平に貼れます。

単位

プロットダイアログ内での表示単位を設定します。cm、mm、inch、およびptのいずれかを設定します。

⑧タイリング・オプション (⇒ 27 ページ)



タイル分割

分割の設定を行った後、このボタンをクリックして分割を実行します。

全タイル

タイルのサイズを入力します。全て同じタイルサイズでオブジェクトを分割します。

詳細指定

自在に分割します。  選択ツールで、分割線を移動します。

サイズ表示

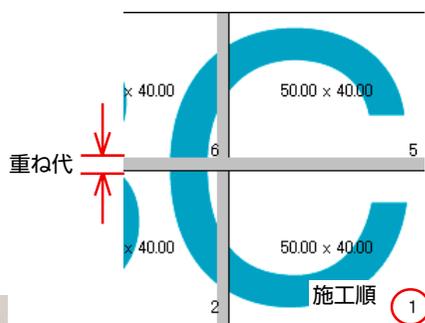
各タイルのサイズを表示します。

重ね代

タイルの重ね代を設定します。

施工順

カットしたタイルを張り合わせる順番を選択します。

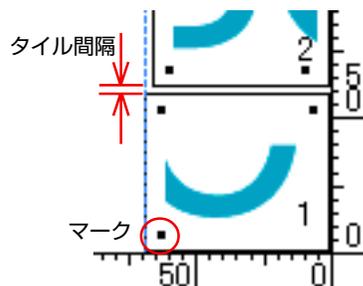


マーク

分割したオブジェクトにマークをつけます。
マークを合わせると、分割前のオブジェクトを
復元できます。

タイル間隔

各タイルをカットする間隔を設定します。



⑨ トンボ・オプション

トンボ認識

[プロッタ/ユーザー設定]画面の[プロッタ種類]で「(トンボ検出付)」と書いてあるプロッタを選択している場合のみ、この機能が有効になります。

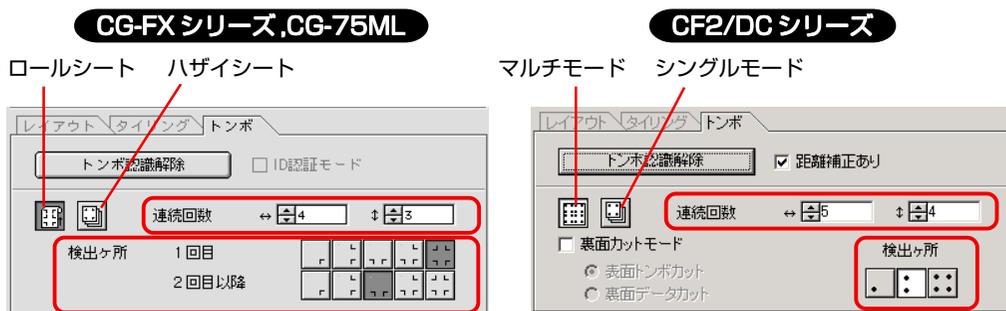
マークセンサー付きカッティングプロッタ「Mimaki CG-EXシリーズ」、
「Mimaki CG-FXシリーズ」、
「Mimaki CG-75ML」または「Mimaki CF2/DCシリーズ」でトンボ検出を実行すると、そのトンボ読み取り結果に対して傾き補正とサイズ補正を行います。

トンボ認識解除

トンボ認識を中止します。

連続カットの設定

「Mimaki CG-FXシリーズ」、または「Mimaki CG-75ML」、「Mimaki CF2/DCシリーズ」をご使用の場合は、ロールシート（マルチモード）とハザイシート（シングルモード）での各検出方法を設定できます。（⇒64,79ページ）



連続回数

連続認識する回数を設定します。
ロールシートまたはマルチモードの場合は、1枚のシートの各方向へデータの個数を設定します。（⇒65,79ページ）
ハザイシートまたはシングルモードの場合は、交換するシートの枚数を設定します。（⇒69,79ページ）

検出ヶ所（CF2/DCでは1,2,4点のみ）

1番目のデータのトンボ検出ヶ所を選択します。
2番目以降のデータのトンボ検出ヶ所を選択します。（CF2/DCシリーズでは設定できません。）

裏面カットモード（⇒82ページ）

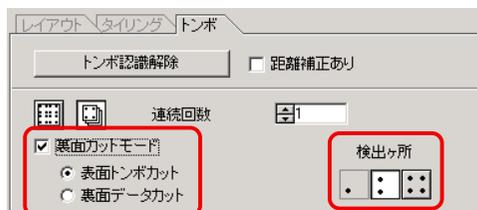
「Mimaki CF2/DCシリーズ」をご使用の場合は、メディアを裏面からカットできる「裏面カットモード」の選択ができます。

表面トンボカット

表面からトンボを十字にカットします。

裏面データカット

裏面からデータをカットします。



検出ヶ所

トンボ検出ヶ所を選択します。
「表面トンボカット」では（2点または4点）、「裏面データカット」では（1点,2点,4点）から選べます。

分割トンボ (⇒ 80 ページ)

「Mimaki CF2/DC シリーズ」をご使用の場合は、データを複数回 (2～5回) に分けてカットできる「分割トンボ」ができます。

カットエリア

カットするエリアを選択します。

検出ヶ所

トンボ検出ヶ所を選択します。



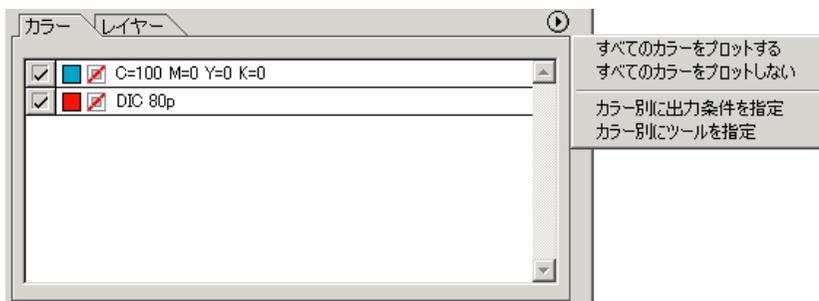
⑩ 選択リスト (⇒ 44 ページ)

オブジェクトをカラー別、またはレイヤー別にカットするかを選択し、選択した内容をリストに表示します。タイリング機能を実行すると、タイル・リストが表れます。

左端のチェックボックスに、チェックをつけたオブジェクトのみをカットします。

カラーリストでは、塗りの色、線の色を選択して各情報を表示します。

右上のボタンをクリックして、出力条件を設定できます。(⇒ 49 ページ)

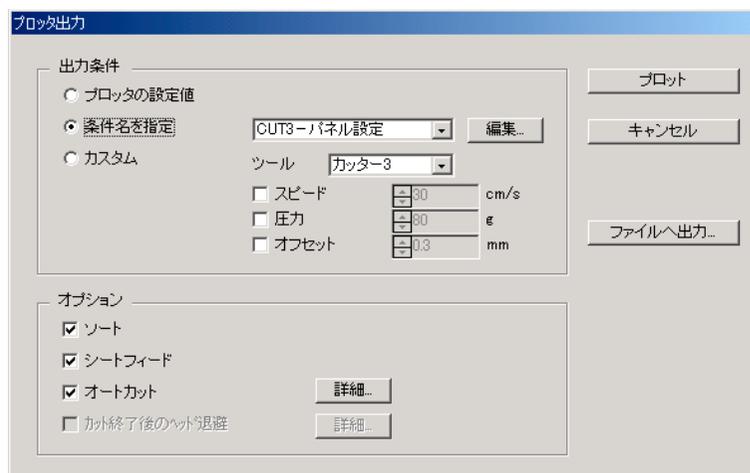


⑪ サイズ変更ボタン

ダイアログのサイズを変更したい時、このボタンをクリックしたまま、変更したい大きさにドラッグします。

プロッタ出力ダイアログについて

 プロットボタンをクリックすると、プロッタ出力ダイアログを表示します。



①出力条件

出力条件を選択します。

プロッタの設定値：プロッタで設定した値で出力します。

条件名を指定：FineCutで設定した出力条件で出力します。

編集 をクリックすると、メディアの追加や、メディア別にカット条件を設定できます。(⇒45,97ページ)

カスタム：条件を登録せずに、出力条件を指定できます。

重要!

カラー/レイヤー別に出力条件またはツールを指定した場合は、この画面で編集できません。

②オプション

ソート

「Mimaki CGシリーズ」の場合、ヘッドの無駄な移動を最小限にしたソートを行い、効率良くカットできます。

「Mimaki CF/CF2/DCシリーズ」の場合、ヘッドの無駄な移動をなるべく少なくし、かつ内側にあるオブジェクトを優先的にカットするようにソートを行います。また、カラー/レイヤー別に出力条件またはツールを指定した場合は、カラー/レイヤーごとにソートを行い、リストの上位にあるカラー/レイヤーから順にカットします。

シートフィード(「Mimaki CGシリーズ」のMGL-IIcのみ)

カット前に、シートをフィードして、データを最後までカットできるか確認します。

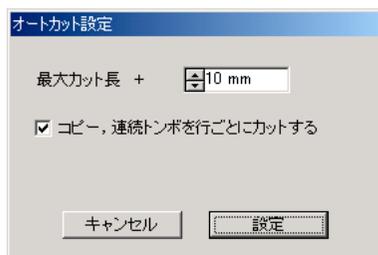
重要!

失敗した時はプロッタ側にエラーを表示します。プロットを中止し、シートをセットし直して再度プロットしてください。

オートカット

「Mimaki CG-FX シリーズ」、 「Mimaki CG-75ML」 をご使用の際、この機能が有効になります。ロールシートで連続カットを行う場合、カット終了後、自動的にシートを切り離します。

詳細 をクリックすると、以下の設定を行うことができます。(⇒ 66 ページ)



最大カット長 +

最後にプロットした行から、シートをカットするまでの長さを設定します。

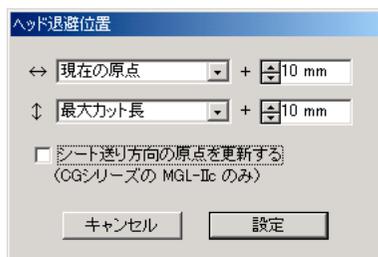
コピー、連続トンボを行ごとにカットする

データを行ごとにカットするか、選択します。

カット終了後のヘッド退避

データを出力した後、ヘッドを指定位置に移動させ、データの確認を容易にします。

詳細 をクリックすると、以下の設定を行うことができます。(⇒ 53 ページ)



幅方向のヘッド退避位置

幅方向のヘッド退避位置を設定します。

基準位置を「現在の原点」、「最大カット幅」から選択します。

長さ方向のヘッド退避位置

長さ方向のヘッド退避位置を設定します。

基準位置を「現在の原点」、「最大カット長」から選択します。

シート送り方向の原点を更新する

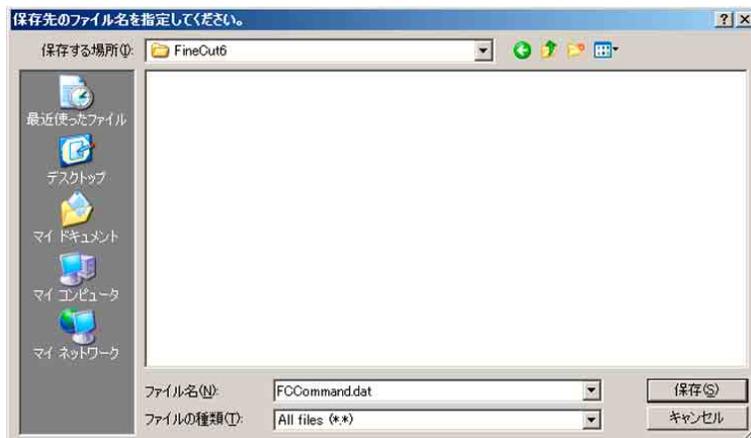
ヘッドの退避位置を原点に設定します。

重要!

原点更新は Mimaki CGシリーズの MGL-IIcのみ使用できます。

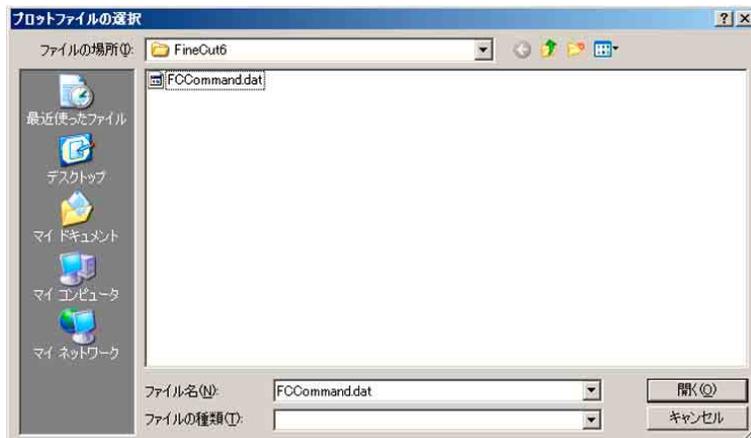
③ファイルへ出力...

プロットデータを、プロットファイルとして保存します。



保存先を選択して、**保存** をクリックします。

保存したデータをプロットする場合は、Illustratorのファイルメニューの[FineCut]から「プロットファイルを出力...」を選択します。(⇒95 ページ)

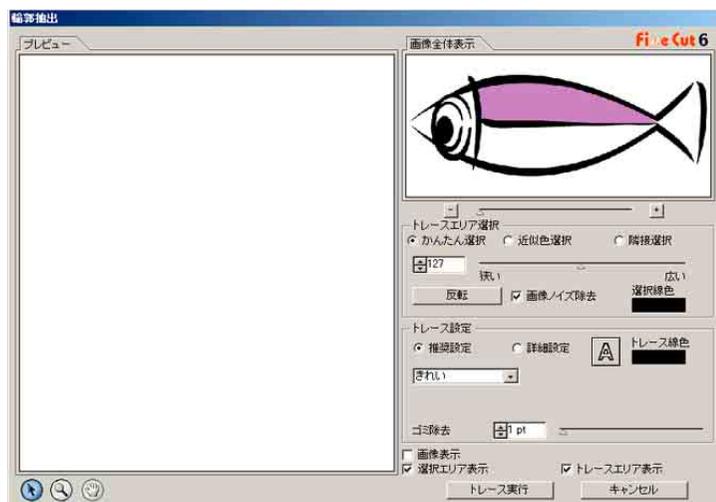


プロットするファイルを選択し、**開く** をクリックします。

プロットを実行します。

輪郭抽出ダイアログについて

輪郭抽出ダイアログについて説明します。



① トレースエリア選択



かんたん選択： 画像の明るさを基にトレース領域を選択します。(選択範囲:2-255)

近似色選択： プレビュー画面上で指定した色と、その近似色を画面全体から選択します。

隣接選択： プレビュー画面上で指定した位置とつながっている、同色の領域を選択します。

選択線色： プレビュー画面に表示される線分の色を選択します。



近似色選択・隣接選択をする場合、スライダーの数値を小さくするとより精度の高い抽出ができます。



輪郭の凹凸を減らし、なめらかに線分をつなげたい場合は、「画像ノイズ除去」にチェックを付けます。



選択エリアを反転させる場合は **選択エリアの反転** ボタンをクリックします。

② トレース設定

■ 推奨設定の場合



きれい： 輪郭線は細部まで作成されます。

速い： 抽出の処理時間は速くなりますが、輪郭の細部は粗くなります。

■ 詳細設定の場合



線分の長さ： 線分一本の長さを指定します。線分の長さが短くなるほど細部まで表示されます。

曲線化する角度：線分のつなぎ目形状を角にするか、または曲線にする場合の角度を指定します。角度が小さいほど角の部分が多くなり、大きいほど曲線部分が多くなります。

ゴミ除去： 指定した長さより小さい線分を削除します。スキャナで読み込みをした場合等に現れるカット不要な線分を除去します。

画像表示： トレース対象の画像を表示します。トレース結果と画像を比較できます。

選択エリア表示： トレースエリアの選択されている領域を表示します。

トレースエリア表示： トレース結果を表示します。



アウトラインのみ輪郭抽出を行う場合は **A** をクリックします。

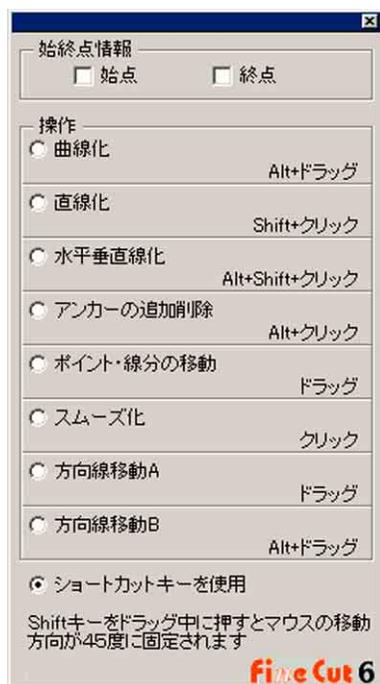


「画像を表示する」にチェックを入れると、「トレース結果表示」のプレビューに輪郭抽出対象画像が表示され、抽出線分の確認ができます。

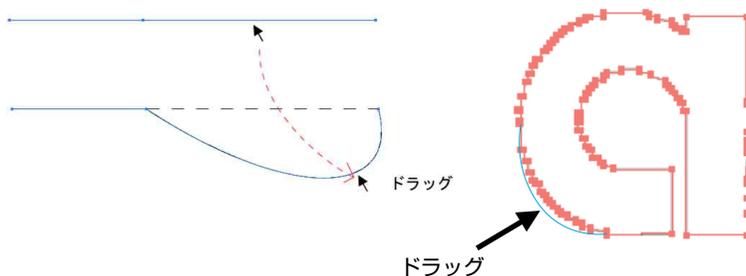
線分修正ダイアログについて

線分修正ダイアログについて説明します。
始点と終点を指定し、その間に存在する複数の線分をまとめて一括修正します。また、
線分を一本ずつ修正することも可能です。

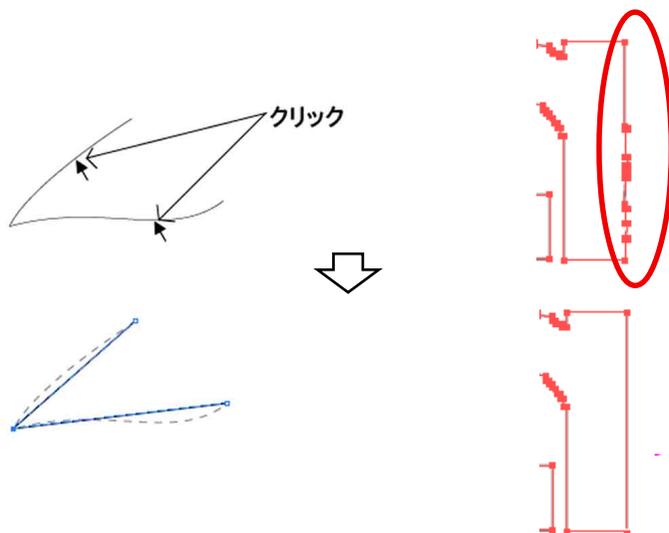
始点・終点を指定し修正操作を行います



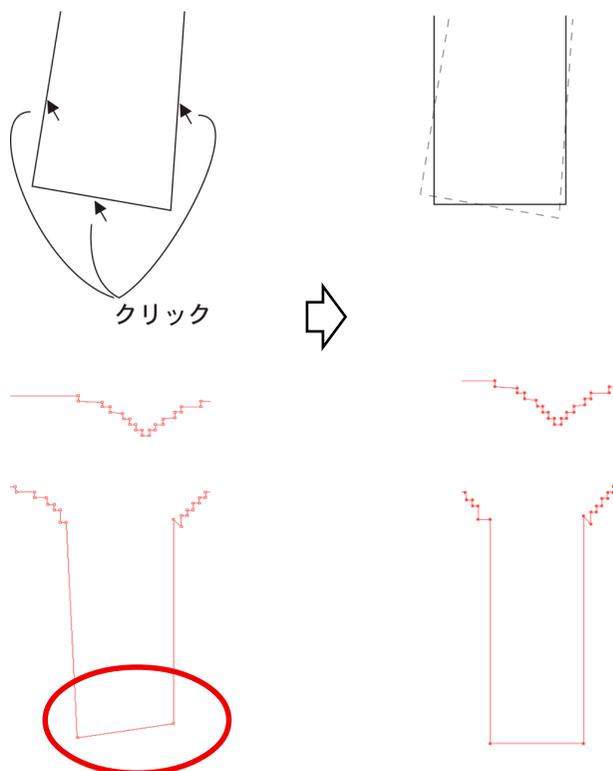
曲線化： 始点と終点間の線分を曲線化します。始点と終点を選び、線分をドラッグします。



直線化： 始点と終点間の線分を直線化します。始点と終点を選び、線分上をクリックします。



水平垂直化： 線分上をクリックすると水平もしくは垂直に線分が変更します。クリックした線分の角度により、水平か垂直かを判断します。



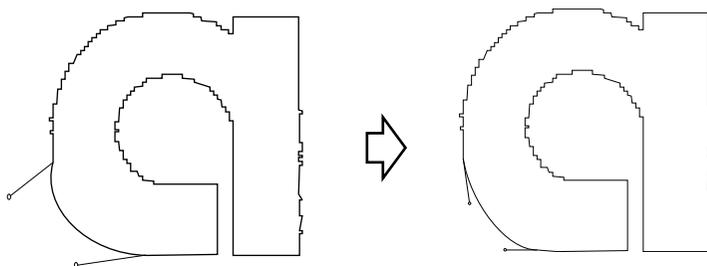
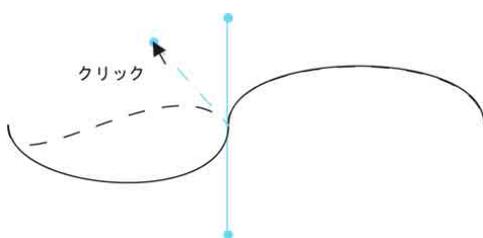
アンカーの追加削除：

アンカーポイントを追加する場合は、線分上の追加する位置をクリックします。アンカーポイントを削除する場合は、アンカーポイントをクリックします。

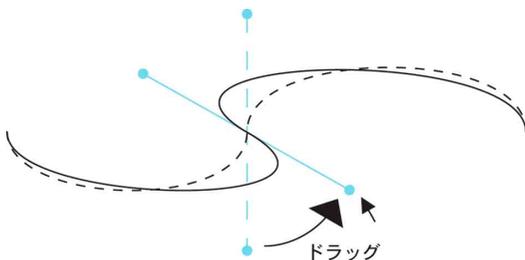
ポイント・線分の移動：

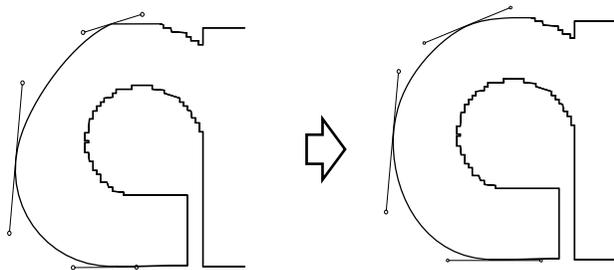
始点と終点間の形状を保ったまま線分を移動します。

スムーズ化： コントロールポイントの傾きを同じにし、線分の接続をスムーズにします。

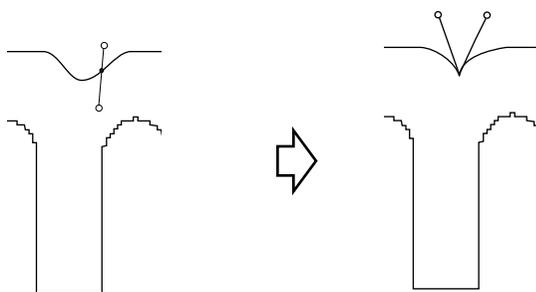
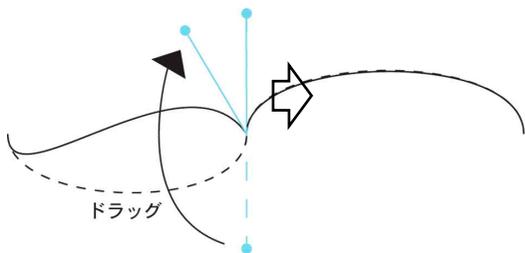


方向線移動 A: コントロールポイントを移動して、曲線形状を変化させます。その際接続がスムーズになるように反対側のコントロールポイントも移動します。





方向線移動 B: 選択されているコントロールポイントのみを移動して、曲線形状を変化させます。



シート寸法が変更できない

* コマンドが MGL-IIc の場合

プロッタ側の原点を移動して、 シート読み込みボタンをクリックしても、シート寸法は変わりません。

常にプロッタにセットしているシートサイズを表示します。この場合、レイアウトエリアのカットエリア内にデータが収まっても、データがはみ出してカットする場合があります。

* コマンドが MGL-Ic の場合

有効カットエリアを表示するため、プロッタ側で原点を移動しても、カットエリア内にデータが収まっていれば、問題なくカットできます。

線幅・重なり認識、フレーム抽出、トラッピング、輪郭抽出時にメモリ不足になる

「線幅・重なりを認識」、「フレーム抽出」、「トラッピング」、「輪郭抽出」機能は、複雑なオブジェクトでは大量のメモリを消費します。マシンのスペックによっては、目的のオブジェクトがメモリ不足で処理できないことがあります。

オブジェクトの種類にもよりますが、オブジェクト全てを選択して実行せず、いくつかに分割して選択して複数回実行すると、メモリ不足のエラーを回避できることがあります。

輪郭抽出の場合、解像度を低くすることでメモリ不足エラーを回避できることがあります。

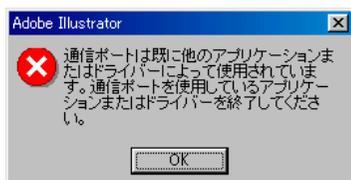
例1：複雑なオブジェクトで線幅・重なりを認識する場合、タイトルとオブジェクトで分かれているようなオブジェクトは、全てを選択せず、別々に選択して実行します。重なっている部分があれば、重なっている部分のみ選択して実行します。

例2：複雑なオブジェクトでフレーム抽出する場合、外枠があるようなオブジェクトは、外枠のパスだけを選択してフレーム抽出を実行すると、無駄なメモリを消費することなく、スピーディに処理を実行できます。

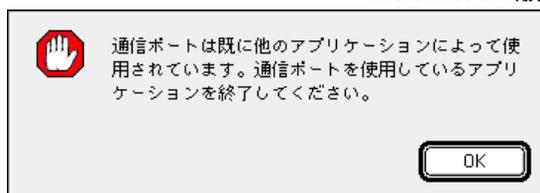
プロット時に通信ポートエラーまたはError No.1が発生する

 プロットボタンを押したら下記のエラーメッセージが表示された。

Windows 版



Macintosh 版



* Windows の場合

タブレット やプリンタドライバなどの周辺機器のドライバソフトでシリアルポートを使用するものをお使いの場合、通信ポートエラーまたはError No.1が発生します。この場合は、他のポートを使用するように設定してください。

* Macintosh の場合

プロッタを接続しているポートが、すでにAppleTalkで使用している可能性があります。セレクトでAppleTalkを「不使用」に設定します。または、AppleTalkコントロールパネル書類で、プロッタを接続していないポートを選択してください。プリンタポートにプロッタを接続している場合は、「モデムポート」または「Ethernet」等を選択してください。



パスワードが認証されない

FineCut は、バージョンアップごとにパスワードが変更されます。

お手数ですが、CD-ROM に添付の「ユーザ登録カード」を FAX でご送信ください。新しいパスワードが取得できます。新しいパスワードが発行されるまでは、「後で登録」ボタンをクリックすると、通常にご利用いただけます。

弊社では、お客様へのサポートおよびバージョンアップサービスなどを円滑に行うため、お客様がご利用されている環境情報を弊社データベースに登録させていただいております。登録された情報は、一切外部へ持ち出されることはありません。

回り込みテキストに「フレーム抽出」、「カス取り線作成」、「影／ふち取り作成」を実行すると、不正な結果になる

IllustratorCS/CS2の[オブジェクト]-[テキストの回り込み]-[回り込みの作成]メニューで作成した回り込みテキストに、「フレーム抽出」、「カス取り線作成」、「影／ふち取り作成」を行うと、正しい結果が得られません。

回り込みテキストを[文字]-[アウトライン作成]メニューでアウトライン化してから実行すると、正しい結果が得られます。

ふち取りを作成すると、オブジェクトの中に不正なパスが作成される

パスの形状により、作成したふち取りの中に不正なパスが作成されることがあります。ふち取り作成のオフセット値を小さくするか、角の形状を変更してください。

「影／ふち取り作成」で作成した影やふち取りが削除できない

「影／ふち取り作成」で作成した影やふち取りのパスを編集すると、「影／ふち取り削除」を実行しても削除できない場合があります。

影、またはふち取りのパスをグループ解除し、手動で削除してください。

索引

記号	
%表示	102
C	
CF2/DC シリーズでカットする	77
F	
FC トレースレイヤー	35
FC フレームレイヤー	56
FineCut ダイアログについて	12
FineCut メニュー	94
U	
USB- シリアル変換アダプタ	11
イ	
移動	104
色別にオブジェクトをカットする	42
インストール手順	
Macintosh	7
Windows	4
ウ	
裏面カット	82
エ	
遠近効果	31
オ	
オートカット	66, 110
オブジェクト全体表示	102
オブジェクトを移動する	84
オブジェクトを拡大 / 縮小する	20
オフセット	55, 57
オリジナルに戻す	104
カ	
回転	104
角の形状	55
ベベル	56
マイター	56
ラウンド	56
角の比率	56
影 / ふち取り削除	32, 95
影 / ふち取り作成	30, 95
カスタム	109
カス取り線削除	41, 95
カス取り線作成	39, 95
カットエリア	102
カット終了後のヘッド退避	52, 110
カットラインモード	102
画面表示モード	102
カラーチャート・プラグイン	89
カラーライブラリ	
インストール	90
ご提供メーカー	89
動作環境	89
カラーライブラリを使ってシート色を	
指定する	89
カラーリスト	42, 108
キ	
キャスト	31
距離設定	41
距離補正	80
ケ	
警告表示	100
オープンパス	100
線幅指定されているパス	100
その他のカットできないパス	100
トンボ認識の警告	100
検出力所	107
原点	103
原点の自動更新	52
原点ロック	43, 105
コ	
コーナーマーク	105
コーナーマーク	23
コピー	24, 104
コピー間隔	104
コマンド	96

サ

サイズ表示	27
サイズ変更ボタン	108
最大カット長	110

シ

シートサイズ	103
シートサイズ読み込み	102
シート寸法が変更できない	118
シート全体表示	102
シートの寸法	103
シート幅表示	102
シートフィード	109
シートを有効に使う	84
シールをつくる	54
施工順	27
終了	102
出力条件	45
の内容を変更する	45
を追加する	45
出力条件設定	97
条件名を指定	109
詳細指定	27
初期値に戻る	102
初期表示タイプ	99
シリアル番号	13
シングルモード	79

ス

ズームサイズ表示	102
ズームツール	101
スウォッチライブラリ	89
ステップサイズ	96

セ

センターマーク	22, 105
全体サイズ	104
全タイル	27
選択ツール	101
選択パスをプロット	95
線の色	42
線幅・重なりを認識	88, 95
線分修正ダイアログについて	114
線分を修正する	36

ソ

ソート	109
-----------	-----

タ

ダイアログのサイズを変更したい時	108
ダイアログ表示時のみ	
シート読み込みを行う	99
タイリング	26
タイル間隔	106
タイル分割	28
重ね代	106
サイズ表示	27, 106
施工順	27, 106
詳細指定	27, 106
全タイル	27, 105
タイルリスト	29
ダイレクト選択ツール	84, 101
裁ち落とし	55
縦横変倍	20, 105
単位	105

ツ

ツールボックス	101
追加方向	40
通信条件	98
通信速度	98
通信ポート	98

テ

データ長	98
デフォルトシートサイズ	99
デフォルト設定	97

ト

トラッピング	86, 95
ドロップ	31
トンボ検出	
CG-EX シリーズの場合	61
CG-FX シリーズの場合	64
トンボ作成	95
CF2 シリーズの場合	59
CG シリーズの場合	57
トンボ認識	106
トンボ認識解除	106
トンボ分割	60
トンボ分割カット	80
トンボを認識し、カットする	
CG-EX シリーズの場合	61
CG-FX シリーズの場合	64
CG-ML シリーズの場合	71, 75

ヌ

塗りと線 93

ハ

ハザイシートの連続カット 69
パスとは 93
パスワード 10, 119
パスワードが認証されない 119
幅 103
バリティー 98
ハンドシェーク 98

ヒ

表示パスのみプロット対象 99
表示方法 102
表示領域変更ツール 101

フ

ファイルへ出力 111
フィット 104
ふち取り 31
フリー設定 40
フレームオフセット 40
フレーム抽出 55, 95
フレームをつける 55
プレビューモード 102
プロッタ 96
プロッタ機種 96
プロッタ出力ダイアログ 109
プロットダイアログ 99
プロッタの設定値 109
プロッタ / ユーザ設定 95, 96
プロット 95, 102
プロットダイアログ 101
プロットファイルを出力 95, 111
分割 26
分割数設定 40

ヘ

ヘッド退避位置 52
ベベル 56

ホ

保存したデータをプロットする 111
ボックス 31
本文中の表記について 12

マ

マーク 29, 106
マークチップ 82
マイター 56
マルチモード 79

ミ

ミラー 105

メ

メディア設定 96
メモリ不足 118

ユ

ユーザー登録 10
有効カットエリア 17

ラ

ラウンド 56

リ

輪郭抽出ダイアログについて 112
輪郭を抽出する 33

レ

レイアウトエリア 102
レイアウト・オプション 104
レイヤー別にオブジェクトをカットする 44
レイヤーリスト 44
連続回数 107

ロ

ロールシートの連続カット 64

ワ

枠 104

